

# 東京瓊林

No.152  
2024.3



長崎大学龍踊部



瓊林会 東京支部

長崎高等商業学校 校歌

牛島 秀雄 作詩 島村 吉門 作曲

<p>5 三年鍛へし此の腕 覇者の冠飾るべく 希望輝く星影に</p>	<p>4 桂の水棹蘭の槳 行手を啓示す商神の 寄せ来る権力集う富</p>	<p>3 凶南の翼収めつつ 健児五百の渾身に 香しき哉校風は</p>	<p>2 扇嶼の沖に沈む陽の 龜嶺の山の夕ぐもに 見よ靈鶴の羽ばたきて</p>	<p>1 暁星淡く瞬きて 海高鳴りて新潮に 此処の水門に運びたる</p>
<p>競ひの場に矛執れば 橄欖いまや若葉はぬ いざや謳はむ国の榮</p>	<p>月の御船に打ち乗りて 指す俣に漕ぎ行けば 是ぞ吾儕が使命なる</p>	<p>扶揺万里の風を待つ 自疆の精神漲りて 虚空に高く薫るなり</p>	<p>彼方黄金の波立ちて 奇しき福利の響あり 翔けるは何処西の空</p>	<p>金鷄夢を破るとき 文華を西の国人が 光榮ある瓊の浦曲哉</p>

瓊林会東京支部所在地



瓊林会 東京支部

〒 160-0004  
東京都新宿区四谷 1-10-2  
長崎県東京産業支援センター 301  
T E L : 03-6240-0532  
E-mail : : info@tokyo-keirin.jp

ホームページ ;  
<http://tokyo-keirin.jp>

【アクセス】

- ・ JR 中央線・JR 総武線 「四ツ谷駅」 四谷口 徒歩 3分
- ・ 地下鉄 東京メトロ丸の内 「四ツ谷駅」 赤坂口 徒歩 3分
- ・ 地下鉄 東京メトロ南北線 「四ツ谷駅」 四谷口 徒歩 3分



## 巻 頭 言



支部長 国広 昭彦

会報誌「東京瓊林第 152 号」の発行にあたり、瓊林会東京支部の活動状況等を踏まえ、東京支部長として一言ご挨拶を申し上げます。

この一年を振り返ると「集う喜び、集う楽しさ、集う大切さ」を改めて再認識したように思います。新型コロナウイルス感染症の位置づけが昨年 5 月より、いわゆる「5 類感染症」となり、社会も従前の生活に近づいてきました。

この流れを受け、瓊林会東京支部としては、7 月に 4 年ぶりに通常総会を開催致しました。コロナの 4 年は、人と会わないことを是とし、ネットを中心としたサイバー空間での人との関り方が日常となってきました。総会の参加人数も危ぶまれる予想もありました。そんな中、当日は 92 名もの方々をご参加頂き、大変な盛り上がりとなりました。学 9 回から学 69 回まで、上下 60 年に亘る幅広い会員の皆様にご参加頂きました。若い会員の参加も比較的多く、また、大学卒業して初めてご参加頂いた方もあり、「こんな集まりがあるのか知りませんでした。次回も参加したいです。」との声も頂きました。世代を超え、多種多彩な方が集う同窓会の醍醐味、原点を感じさせる総会となったように思います。

10 月には、ラグビーワールドカップ（フランス大会）の日本対アルゼンチンの大一番を瓊林会東京支部事務所 1 階にある長崎レストランを貸し切り、「ラグビー W 杯 WITH 長崎美味かもん」と題し、パブリックビューイングを開催しました。試合は負けましたが、店内に大型スクリーンを持ち込み、臨場感溢れ、ビールに“皿うどん”と長崎風観戦に大盛会となりました。パブリックビューイングの開催は瓊林会として初めての試みでした。

11 月は、4 年振りの開催の「第 63 回日本寮歌祭」への参加です。長崎大学経済学部としては過去最多の 21 名もの大変多くの会員の皆様にご参集賜りました。これは、旧制四高金沢大学、早稲田大学に次ぐ 3 番目の勢力となる参加人数でした。21 名が壇上で声高らかに歌う「暁星淡く」は正に圧巻でした。全国からの 300 名近い錚々たる大学の OB・OG で埋め尽くされた会場に母校校歌が響き渡り、歌い終わった後の大歓声と拍手は今大会最大でした。「長崎高商、長崎大学経済学部、此処に在り！！」そんな気持ちになりました。同窓会の伝統とか、結束力を表現するのは簡単ではありませんが、こうした“集い”が、伝統の重みや、結束の強さ等を世に知らしめ、会員の皆様にその大切さを再認識させる場になるのではないのでしょうか。

これからも、「集う喜び、集う楽しさ、集う大切さ」を大事にし、いろんなアイデアも取り入れ、発信力を高め、来年の母校創立 120 周年に向け、あらゆる努力をして参りたいと思います。会員の皆様の更なるご支援、ご鞭撻宜しくお願い申し上げます。



# 『東京瓊林』第152号 目次

瓊林会東京支部の案内図／長崎高等商業学校校歌 ……表紙裏面

巻頭言 / 瓊林会東京支部支部長 国広 昭彦

## 【支部活動報告】

東京支部定時総会令和5年報告及び令和6年ご案内	……1
現役経済学部学生への「金融市場体験学習」を開催	学29 国広 昭彦 ……2
金融市場体験学習報告	長崎大学経済学部3年 ……4
	北方 智琉・川上 功太郎
キャリアデザインに思う	学28 今泉 一隆 ……6
「キャリアデザイン講座」講師を終えて	学35 森廣 政邦 ……7
ラグビーワールドカップ（アルゼンチン戦）	学29 中川 和彦 ……10
高商歌を現役学生と歌いたい！	学35 堀田 毅 ……11
瓊林友の会活動状況—各種イベント活動について	学12 稲山 清紀 ……13

## 【投稿記事】

8 大学ラグビー OB 親善大会に参加して	学35 林田 圭史 ……14
ローカル鉄道のある風景を求めて（北海道編）	学29 川崎 圭一 ……16
ボーイスカウト活動における国際交流	学09 木村 耕三 ……19
IT スタートアップ創業者の道	学65 山下 大貴 ……26
私の会社紹介 ～ 株式会社 QUICK ～	学68 月足 亮介 ……27
日本寮歌祭に参加して母校を思う	学30 木村 直樹 ……28
東京に残る長崎偉人の足跡	院16 中村 奈美 ……31

## 【サークル・同好会だより】

NME 第17回ファミリーコンサート開催	学12 川口 恒夫 ……36
囲碁海外遠征(3) アメリカ編	学12 高本 正 ……37
俳句同好会より	学12 稲山 清紀 ……39

## 【お知らせ】

長崎県の産業振興に向けて	長崎県産業振興財団 ……40
長崎市だより	長崎市企画財政部 ……42
ふるさと諫早の今をお知らせします	諫早市東京事務所 ……45

## 【事務局より】

敬弔	……48
前年度会費納入者一覧	……49
前年度寄付者一覧	……51
2024年度東京支部収支予算案	……52
瓊林会東京支部役員体制	……53
お願い	……54
表紙・編集後記	……54

## 令和 5 年度東京支部定時総会のご報告

去る 7 月 8 日（土）、令和 5 年度瓊林会東京支部定時総会を開催しました。

公益社団法人瓊林会喜多村会長を迎え、今年は新型コロナが 5 類に移行したことで、懇親会を含む通常形式での開催でした。総会に合わせて、日越国交 50 周年を記念して外部講師による記念講演を開催しました。総会には 92 名の幅広い世代の会員に参加頂きました。

開催日：令和 5 年 7 月 8 日（土） / 会場：主婦会館プラザエフ（千代田区六番町 15）

式次第：

1. 開会
2. 公益社団法人瓊林会会長 喜多村 円氏 挨拶
3. 瓊林会東京支部 国広支部長挨拶
4. 議題（議長 国広支部長）

第 1 号議案 令和 4 年度決算報告

第 2 号議案 令和 5 年度活動計画と予算案

第 3 号議案 役員交代

委任状 164 名、会場参加者 92 名で、すべての議案につき承認

## 令和 6 年度東京支部定時総会のご案内

日時：令和 6 年 7 月 13 日（土） 11：00（開会）～ 15：30（閉会予定）

会場：主婦会館 プラザエフ

東京都千代田区六番町 15

JR 四ツ谷駅 麴町口 徒歩 1 分、地下鉄 四ツ谷駅 徒歩 3 分

式次第： 11：00～ 令和 6 年度東京支部定時総会

第 1 号議案 令和 5 年度決算報告

第 2 号議案 令和 6 年度活動計画と予算案

第 3 号議案 役員交代 ほか

11：30～ 講演会（学 19 明治大学名誉教授 山浦 久司様）

13：00～ 懇親会（15：30 閉会予定）

会費：7,000 円（予定）

※定時支部総会及び懇親会の詳細については、別途ご案内いたします。

## 現役経済学部学生への「金融市場体験学習」を開催①

学 29 回卒 国広昭彦

公益社団法人瓊林会（本部）の現役学生支援活動の一環として、瓊林会東京支部との連携で「金融市場体験学習」が今年の 9 月に開催致しました。これは長崎大学経済学部の現役学生（3 年生）を対象に、我が国の金融の中心である東京に招待し、生の金融市場を直接自分の目で見て貰い、体験して学んで貰う企画です。コロナ後としては、前年に引継ぎ 2 回目の開催となりました。

2023 年 9 月、2 グループに分け、前半の第 1 班が 3 名、後半の第 2 班が 4 名の少人数で、東京日本橋の岡三証券本店を拠点に各々 2 日間の体験学習を実施しました。

初日のスタートは、日本銀行金融研究所貨幣博物館の見学です。貨幣博物館では、貨幣および貨幣に関する歴史的、文化的な資料を収集・保存し、それらの調査研究を進めつつ、広く一般に公開しています。貨幣博物館には、わが国の古代から近代にいたる貨幣だけでなく、中国を中心とする東アジアの貨幣や、貨幣に関するさまざまな資料を実際に見ることが出来ます。また、余談ですが、現在の紙幣での 1 億円を自分の手で持ち上げ、その重みを感じることもできます。

続いては、岡三証券本店での学習です。研修の場所として、様々な投資情報が集まる証券会社の中核とも言えるトレーディングルームでと致しました。株式市場や債券市場等時々刻々と動くマーケットに触れ、実際目の前で動いている経済の鼓動を感じて貰いたいという筆者の強い思いから、特別にトレーディングルームを研修の場所に指定しました。研修でのレクチャーも、今回の体験学習以外の通常の学生対象では有り得ない、担当部長による直接講義もお願いしました（通常の学生研修では研修部員が対応）。加えて職場の雰囲気を知ってもらうために若手社員との交流等、専門的な話から実際の働き方まで、大学の講義やネット情報等では、決して味わうことが出来ない体験学習になったと思います。夜は、日本橋人形町のイタリアンで懇親会を開催致しました。また、懇親会では、学生の皆さんに昼間聞き難いようなことまで聞けるように、長崎大学経済学部の OB にも懇親会に応援参加して頂きました。参加頂いた OB の方をご紹介します。第 1 班が、鼻崎雄治さん（学 52：岡三証券東京法人第一部長）、月足亮介さん（学 68：株式会社 QUICK フロント営業本部）です。第 2 班が、金澤孝典さん（学 54：岡三証券ウェルスクンサルティング部ソリューション企画グループ長）、下川賢人さん（学 66：第一生命保険株式会社より内閣府に出向）です。岡三証券の経済学部 OB 以外にも、若手で金融関連の業務に携わっていらっしゃる方として、上述のように、金融・経済情報サービス会社 QUICK 社から月足さん、第一生命保険より下川さんに御参加頂きました。学生の皆さんからも色んな質問が出され、両班とも大変盛り上がった懇親会となりました。

## 現役経済学部学生への「金融市場体験学習」を開催②

学29回卒 国広昭彦

二日目は、日本橋兜町の東京証券取引所からスタートです。東京証券取引所は、1878年（明治11年）渋沢栄一等によって設立された東京株式取引所が源流となっています。日本国内に上場されている企業（約3,800社）の大半が東京証券取引所で売買されていて、我が国の資本市場の殿堂的存在です。東京証券取引所では、専門スタッフによる説明を受け、最後は株式投資の模擬売買の体験もして頂きました。

こぼれ話として、学生の皆さんを取引所の脇にある小さな社「兜神社」にお連れしました。証券の街「兜町」の由来となった神社です。諸説ありますが、940年、承平天慶の乱で平将門を討ち取った藤原秀郷（俵藤太）が、平将門の兜を埋めたという伝承があります。ランチミーティングも有意義だったと思います。岡三証券の採用側のベテラン面接官に同席して貰い、面接官の視点等をざっくばらんに話して貰い、学生側からの質問も多く出されました。学生の皆さんの気付きも多かったようです。

最後はリサーチ部門（情報部門）での体験です。ここでは、若いアナリストから担当部長を交えた学習が行われました。日々の情報収集の積み重ねから、情報発信まで様々な内容を分かり易く解説して頂きました。

「金融市場体験学習」を通じ、学生の皆さんは、実際の目で見て、そこで実際の業務に携わっている人から直接話を聞き、机上では得られない学習ができたと思います。今回の体験学習が学生の皆様の今後の研究や就職活動の一助になればと思います。



※第1班（岡三証券トレーディングルーム）



※第2班（兜町東京証券取引所前）

## 金融市場体験学習の感想レポート①

長崎大学経済学部 3 年 北方 智琉

今回 9 月 5 日・6 日にあった「金融市場体験学習」に参加させていただいたのは、早期化が進む就職活動において、経済学部の講義にも頻出する金融業界についてネットや又聞きした情報ではなく実際に会社で働いている方々の姿を見て、具体的な金融業界に対するイメージを確立したいという思いがあったからです。学習の中で証券会社についての多くの学びを得ることはもちろんのこと、長崎大学 OB の方々からはフランクな雰囲気の中で貴重なお話を聞かせていただきました。

トレーディング業務研修においては、様々な株式や為替レートが表示され日々の経済が映し出されている「トレーディングルーム」の一室で部署の説明や実際の業務内容について教えていただきました。さらに、そこで働く社員の方に話を聞くことができ、業務が常に変動する情報と数字を見つめ法人顧客のニーズにこたえていました。また、エクイティ部においてはその前のトレーダーに対しての指示などをこなす部門があるということを知り、金融業界といっても営業や投資家だけではなく様々な仕事があるのだということを実感するとともに証券会社の扱うカネの大きさとその責任について認識させられました。

また、OB の方から「採用側視点」のお話を聞かせていただき、私たち大学生とは全く違う採用側の視点からどのようなことを見ているのか、「逆質問」の答え方などの大変身になる時間でした。

「金融市場体験学習」では金融業界を志望する人も志望していない人も自身の在籍している経済学部に密接に関係している業界について知ることは大きな学びと成長につながると思うため、ぜひ後輩に参加してほしいと思う。



## 金融市場体験学習の感想レポート②

長崎大学経済学部 3 年 川上 巧太郎

長崎大学経済学部の同窓会である瓊林会を通じて、東京で実際に金融業に従事しておられる方々にお話を聞けるという貴重な機会をいただくことができた。経済という学問分野を学んでいる学生にとって、あくまで学問は学問であって、どのように金融や我々の実生活に結びついているのかというのがうまくイメージできなかつたが、株式や債券が実際に取引されているトレーディングルーム・東京証券取引所への見学を通じて実感が持てた。

この研修の特に素晴らしかったところは少人数で業務に精通している人へ話を聞けるところだ。どうしても大学の講義では多数対 1 になりがちで、質問をするというのには性格の問題もあるだろうが、一抹の勇気がある。しかし、今回の研修では、なんでも疑問に感じたことをすぐに聞くことができ、今回若輩な我々の応対をしてくださった証券会社の職員の方々は真摯に質問に対応してくださり、知見を深めることができた。

また、懇親会では、OB の方から片淵キャンパスがあることの歴史や伝統をご教示頂いたことで、オンライン授業が多く片淵キャンパスに愛着があまりなかった自分にとって価値観の刷新につながり、現在移転の話が出ていることに悲しく思う。

さらに、OB の方々からは長崎から東京に出てきてどのようであったかを伺うことができ、東京での就職も視野に入れている自分にとって、今後のライフプランの大きな参考となった。

今回の研修を概観すると、どれも学生という身分では獲得できないような体験ばかりであったように思う。したがって、このような機会を提供してくださった瓊林会には感謝を申し上げたい。卒業した暁には同窓会の益々の繁栄のため微力ながら助力できればと思う。

## キャリアデザインに思う

学 28 今泉 一隆



昨年 10 月、母校のキャリアデザインに参加するチャンスに恵まれた。

43 年振りの母校はとても懐かしく昔の佇まいを残していて、若かった頃の事をはっきり思い出させてくれた。

我々の頃と比べ、キャンパスには女性が多く、とても羨ましい感じがした。また、コンピュータ、AI 世代と言うこともあり、見た感じだけだが良く勉強しているように見えた。

我々が就職を決めた時期から比べると今や業界も激変している。あの頃超大手会社だったが今や見る影もない会社はざらにある。私が入った海運会社もあの頃は“海の駕籠かき” くらいの弱小企業だったが、今や世界の物流を担う大手会社に変身してしまった。

今も昔も就職先として人気のある企業は高値の花で競争率も高いが、世界の情報を瞬時に見ることができる Z 世代にとってみれば、就職のヤマの張り方も大きく違っていそうで興味深い気がする。

最近日本の会社の没落が色んな所で語られている。

残念ながら PC も使いこなせない経営者では、世の中の動きに会社を合わせる事が出来ず、動きが超スローなままなのだ。

そういった意味では違うヤマの張り方もあるかもしれない。一旦海外へ先に出て世界的な考え方を身に着け、その後考える手もある。

先輩としての失敗や経験談を語る前に、キャリアデザインの意味をもう少し深読みして臨めばよかったかもしれない。

本音を言えば、学生の皆さんと、将来の仕事についての話しをもっとざっくばらんにやってみたかった。

最後になりますが、経済学部の皆様、瓊林会の皆様、その節は大変お世話になり有難うございました。お陰様で貴重な経験をすることが出来ました。

学生の皆さんには、激変する社会の中で自ら考え、信念を持って行動されることを望んでおります。

## 「キャリアデザイン講座」講師を終えて①

学部 35 森廣 政邦



2023年11月22日に長崎大学経済学部キャリアデザイン講座（金融業）の講師を務めて参りました。

2年生対象で学生数は約140名。大変盛況で私自身も楽しく講義を終えることができました。

私は1987年に当時の三菱銀行に入行、現在は三菱UFJ銀行で人事の仕事をしています。銀行員生活は37年目になりますが、学生の皆さんに少しでもわかりやすく伝えられたらとの思いで登壇しました。

当日の講義内容については事前の質問をベースに学生との討論形式でしたが、簡単に報告いたします。

学生からの事前質問は9班に分かれて企業研究をされていた様子で、計15件の質問をいただきました。

私の経歴も提出しており丸裸となっているようで、なかなか面白い質問もあったため紹介いたします。

### \*融資をおこなう上で個人や中小企業にどのような点を考慮しているか？

決算書を見るだけでなく背景資産や家族・人柄・考え方、業歴・技術・取引先等についても把握する努力が必要、銀行では支店長の裁量や限度を超えた部分は本部決裁となる稟議制度をとっている、と回答。（少々脱線しつつ）ドラマ半沢直樹は見ましたか？原作の池井戸潤さんは三菱銀行出身で、現在の三菱UFJ銀行頭取は池井戸さんと同期の半沢ですよ、と話しましたが、学生の反応は薄く（すべった？）、教授やスタッフが頷いていた程度。20歳の学生は10年前のドラマは知らないな、と気づきました。これはリサーチ不足と反省。

→学生から、バックグラウンドまで調べる奥深さに興味を持ちましたと謝辞感想あり。

## 「キャリアデザイン講座」講師を終えて②

学部 35 森廣 政邦

### \*採用面接で重視する点は？学生は頑張ったことを話すと思うが確証は得られるか？

短い時間のためエントリーシートは目を通して中身の濃い面談に臨んでいる、相手を知るために質問を繰り返しながらも自分の言葉でしっかりと受け答えできているか？学生も企業も互いに合っていると感じられるか？等いわゆるコミュニケーション力を重視している、と回答。確証？とあるが、人事を何年もやっている人が面接の記録を踏まえながら複数回の面接を積み上げていくので人となりは判っていく、と回答。

学生の PC 入力がカタカタと最大限に聞こえており、やはり一番聞きたいことだなと実感。

### \*面接で印象に残った人を教えて欲しい

個人的に…と話し出すと学生目がキラキラ。

頭の回転も速く受け答えも笑顔を見せながら好印象な学生だが、直前まで部活動に忙しく、銀行の希望職務については曖昧な受け答え。本人には他社も含めて面接に臨む以上はしっかりと準備してください。と面接を終えたが、次の面接に進んだ際に見事なりカバリー、最終的に合格し、私も嬉しかったと披露。

### \*資格をとった方がいいですか？

ただ資格を持っているということだけでなく、その資格取得に至った動機や努力も伝えた方がいいですよ、と回答。

私も銀行人事部在籍のうちに、2年生とはいえ大学生に、このあたりの話をざっくりばらんに語りかけることができれば、かつ少しでも母校に恩返しをしたい、というのが今回登壇した最大の理由です。

→採用面接の話は大変貴重で就職活動に活かしたいとの声が、学生の謝辞感想で一番多かった。

## 「キャリアデザイン講座」講師を終えて③

学部35 森廣 政邦

## \*近年、就職における銀行の人気の落ちているが？

(やはり来たか) これは銀行の、特にメガバンクがデジタル化を受けて店舗統合を進めた時期と重なって人気の凋落した。但し今は店舗統合も一巡し足元では銀行の人気も回復傾向にある。と某就職情報・某新聞系ランキング他の就職人気ランキングを紹介。人気は上下することもあるが、どの企業も一定の採用数は確保したい筈、人材のピラミッド構造が極端に減少する時期があれば将来を支える人材難に直面する等よくない。また、キャッシュレスが進み、決済手段として銀行窓口利用は減っているが、銀行が培ってきた取引先との信用力が無くなるわけではない。現に銀行の業績も株価も様々な要因はあるが上昇基調にある、と回答。

→ネットでは銀行の不安を煽る記事を目にしたが、こうした生の声を聴いて、しっかりと判断していくことが大事だと感じた、と学生の謝辞感想が多かったことで、やった甲斐があったとの思い。

他に人事部・融資部だけではなく支店経験についての質問への討論も実施しましたが本紙面上は割愛。

一つ一つ丁寧に語りかけて質問を促し対話を重ねていくようにしました。私にとっては講義が楽しくて懐かしく、学生時代の教室にフラッシュバックしたような感覚でした。教壇に立ってみて思ったことは、講義室は階段状になっているため後ろは意外とよく見えること。私の学生時代は日ごろ授業に精勤していたとは言えないものの、試験直前の講義は情報収集のために目立たないように後ろの席に座っており、今にして思えばバレバレだったような。

講義終了後、体育館前にある厳しかった練習場所に立ち寄りました。学生の皆さんの応援団として今後もエールを贈り続けたいと思っています。

最後に、今回ご尽力いただいた国広東京支部長はじめ瓊林会の皆様、宍倉経済学部長はじめ経済学部の皆様にあらためて御礼申し上げます。また、私の大学同期かつ銀行同期の安野さんにいたっては当日の講義に遠路より駆けつけて写真まで撮影していただいたばかりか、夜の同期会もセッティングいただき楽しい時間を過ごしました。何から何までお世話になり有難うございました。

## ラグビーワールドカップ（日本対アルゼンチン） パブリックビューイング開催

学 29 中川 和彦

10月8日（日）長崎県東京産業支援センター1階にある「まうまう四谷店・長崎歳時記」を貸し切って、東京支部初となるラグビーワールドカップ日本代表対アルゼンチン代表戦のパブリックビューイングを開催しました。この日までに予選リーグを2勝1敗で終えた両代表チームは、この試合に勝てば決勝トーナメント進出、負ければ予選敗退という、観客からすればいやでも盛り上がる状況の中でこの日を迎えることになりました。当日は東京支部会員の知人も含め23名の方に参加頂きました。キックオフ1時間前にはほぼ全員集まり、長崎料理に舌鼓を打ちながら20時のキックオフを待ちました。

試合開始直前には国広支部長が配付したアルゼンチン国歌の歌詞カードを持って両国国歌を全員で斉唱しました。

試合が始まると皆さん息を凝らして試合に見入っていましたが、開始早々2分にアルゼンチンに先制トライされると、世界ランキングで勝り、直前テストマッチで強豪オーストラリアにも勝っているアルゼンチンにこのままずるずると点差を広げられるのではと心配しましたが、その後シーソーゲームの息詰まる展開となり14対15の1点ビハインドで前半を終了しました。後半も日本代表は粘り強く戦い僅差の時間が続きましたが終盤突き放され日本代表は27対39で敗れ2大会連続の決勝トーナメント進出はなりませんでした。

我々の必死の応援の甲斐なく日本代表は敗れてしまいましたが、本場英国のラグビー専門誌が「今大会予選リーグでの最もスリリングな試合の一つ」と評するほどの見応え十分な試合でした。

プロジェクターと大型スクリーンを使ってのパブリックビューイングは東京支部にとって初めての経験であり、支障なく開催できるか不安でしたが、ご参加頂いた方々にもご満足頂き安堵しています。次回4年後のラグビーワールドカップでもパブリックビューイングを開催しようと思いますので、今回参加できなかった方にも参加頂き、感動を共有できればと思います。当日ご参加頂いた方にはこの場を借りて感謝申し上げます。

23名の参加者は次の通りです。（敬称略）

学 12：川口恒夫

学 29：大久保健 国広昭彦 長岡健 中川和彦  
堀内宇 牧野陽一郎 渡邊俊介

学 31：井上勝康 岸川泉

学 35：石井政敏 堀田毅

学 43：河野正一郎

学 65：山下大貴

鳳陽会（山口大学経済学部同窓会）：塩塚保 葛見雅之

特別参加者：友永朗 中井要 岡本浩資

前田恭男：岡部諭吉 益子勇 嶋野徹



## 高商歌を現役学生と歌いたい！①

学 35 堀田 毅

2023年11月26日、コロナ禍で3年間開催が見送られてきた日本寮歌祭が、日暮里のホテルラングウッドにて4年ぶりに開催されました。全国各地から総勢約250名が集った第63回日本寮歌祭。我が校からは21名が参加、田中久也元応援団長（学30）の巻頭言に続き、長崎高等商業学校校歌「暁星淡く瞬きて」を、声を合わせて歌いました。ちなみに21名という人数は、参加約40高中、第四高等学校（金沢大学）、早稲田大学に次ぐ3番目の大所帯、えっへん長大経済の面目躍如でありました。

ところで、1961年の第1回開催以来、紆余曲折を経ながらも60年以上続いている日本寮歌祭ですが、いかんせん若い世代での認知度が低く、参加者の高齢化および参加人数の逡減が悩みの種です。瓊林会東京支部の若手会員の中にも、「なんとなく知っとなるようできて、実はよくわからん」という方がいらっしゃるのでは？

そもそも寮歌の起源は、1895年（明治28年）に遡ります。当時の第一高等学校（現東京大学）の寮生が、自治寮の誕生を祝う記念祭のために作った歌が、寮生相伝の愛唱歌となりました。さっそく他校もこれに倣って寮歌を作りはじめ、今に残る名曲が数多く生まれることとなります。何とか独自色を出そうと模索する現代の大学事情とは異なり、否が応でも各々の個性が際立っていた当時の学校、学生にとっては、寮の位置づけもまた千差万別。必ずしも寮生であるなしにこだわることなく、同じ学び舎で学んだ同窓の仲間として生まれ、歌い継がれてきたものも数多くあります。拠って現在では、校歌や応援歌なども「広義の寮歌」と捉えられており、長崎高等商業学校校歌「暁星淡く瞬きて」もまた、我が長崎大学経済学部および瓊林会の誇るべき寮歌ということになります。

さて再び時系列をなぞると、旧制高等学校は、第二次世界大戦後の占領下における民主化政策の一環として、新制大学へ統合・継承される形で1950年に廃止されました。そしてその約10年後の1961年に第1回日本寮歌祭が開催されることとなります。母校に対する誇り。戦後の日本再生を牽引したことへの自負。かつて自分たちが心のよりどころにしていた寮歌を、再び皆で集まり歌おうじゃないかという機運の高まり、そして第1回日本寮歌祭が実現したときの感動や興奮は、想像に難くありません。また、台北高等学校や旅順高等学校、京城帝国大学予科、陸軍士官学校、海軍兵学校といった、終戦とともに消滅した（旧日本領の）学校の卒業生が、ともに青春時代を過ごした同窓の友と再会できる場を作ったことにも大きな意義があります。

それから歌い継ぐこと60有余年。旧制高等学校の同窓会的な意味合いから、旧制高校卒業生と新制大学卒業生の交流の場へ、さらにはバトンを託された新制大学が、次の世代に寮歌を継承していく舞台へ。「必ず100年続けるぞ！」と実行委員会は意気軒高ですが、同時に、今、大きな分岐点に立たされているとも言えます。寮歌が日本の文化遺産として後世に“語り継がれる”ことには疑いの余地がありませんが、全国各地の大学で“歌い継がれる”かどうかは別で、その是非が今、問われています。

4年前に、この東京瓊林の誌面をお借りして「第59回日本寮歌祭」開催のご報告をさせていただいた際にも書きましたが、昨今、ほとんどの長大経済生は高商歌を覚える機会に恵まれ

## 高商歌を現役学生と歌いたい！②

学 35 堀田 毅

ないまま卒業するそうです。さらにはここ数年のコロナ禍による、クラブ活動やサークル活動の休部・廃部が追い打ちをかけました。まさに今、我が校も“高商歌を歌い継ぐ”ことの難しさに直面しています。

高商歌継承が途切れることは、長崎大学経済学部にとって大きな損失です。キャンパスの移転・統合なども含めて、長崎大学ブランド再構築の動きがあると聞き及んでいますが、少なくとも経済学部は、長崎高等商業学校の系譜抜きには語れないし、それこそが誇りの源泉だからです。1905年設立の日本で3番目に古い、歴史ある高等商業学校であること。日本において長い間、特殊な役割を担ってきた長崎という地に誕生した学校であること。そして、その誇りを胸に高商歌が歌い継がれてきたことを現役の学生に伝えるにはどうすればいいのでしょうか？

例えば、長崎高等商業学校の歴史に造詣の深い講師を招き「長崎考証学」的な講座を開設して、長崎県（市）の歴史とともに長大経済の歴史 100 有余年を学ぶ過程の一環として高商歌を学ぶ。あるいは、現在行われているキャリアデザイン講師のような枠で、高商歌を歌える OB を派遣し、学生支援やアドバイスの講義の中で高商歌も教える。長大経済卒業生としてこれから社会で羽ばたく学生に、我が校の歴史と伝統、全国各地で活躍してきたOBの存在や実績を伝えることもまた、学生のモチベーション向上に役立つのではないのでしょうか。

校歌は母校への愛着や誇りを象徴するもの。現に、学校主導で教わった小中学校・高校の校歌や応援歌は皆、覚えています。学生主導での高商歌の継承が途絶えそうな今、大学・学部主導で高商歌を教えるということは決して過保護ではなく、むしろ時流の先取りと言えるのではないのでしょうか。





## 瓊林友の会活動状況—各種イベント活動について

学12 事業企画グループ長 稲山 清紀

ご承知のように、瓊林友の会は原則として還暦を過ぎた全国の瓊林会員で構成する瓊林会の中の一団体であり今年で創立44周年となり会員は233名となっています。(12月末現在)最近では還暦前であっても友の会設立の趣旨に賛同された若い瓊林会員にも入会頂いております。

さて、友の会では通常の活動(月次定例会、談話サロン、会報誌発行等)の他に散策、小旅行、観劇、スポーツ観戦等の各種イベントを実施して会員相互の交流、親睦を図り還暦後の人生を健康で豊かに楽しく過ごすことを目的としています。まず、メインの日帰り散策は首都圏の会員を対象に都心から1時間半程で集合できる場所で江戸文化が残るところ、下町情緒に溢れるところ、幕末の歴史の舞台となったところ等々を歩いています。毎年1月には都内新春七福神巡りとして日本橋七福神をはじめ深川、亀戸、柴又、谷中等々の各七福神を、4～6月の花見時には小金井公園、根津神社、堀切菖蒲園など、7月には朝顔市の入谷鬼子母神へ、11月には西の市の鷲神社へ、又、下町商店街で著名な谷根千、赤穂浪士討ち入りの旧吉良邸から泉岳寺へ等々、都内・近郊のガイドブックや新聞・雑誌の紀行文などを参考に散策先を決め実施しています。

コロナ禍前には参加者が20～25名前後と多かったのですが、この1～2年は10名程度となり会員の外出控えがまだまだ続いているのかなと思われまます。最近の散策は都内アンテナショップ巡り2回(九州編、東北・北海道編)、市川/弘法寺花見、神楽坂界限を歩く、佃島・月島(もんじゃ焼き)を歩くなどですが、ガイドブックに紹介されている名所、旧跡などの場所はこの10年余りで殆ど散策しています。小旅行については、還暦でリタイヤされた頃の大先輩方は余裕のある老後を過ごされていたようで奥様連れで日本各地の名所、温泉地などに旅行されていた記録が当時の会報誌に掲載されています。

平成になってからの小旅行は、秩父長瀨、養老溪谷、館山ぐらいでコロナ後は取りやめています。但し、昨年11月には長崎地区の企画で五島ツアーを実施し東京からも含め20名が参加しました。スポーツ観戦は大相撲観戦に2度、その都度両国界限でちゃんこ鍋を堪能し懇親しました。観劇は明治座に一度だけ、その他、江戸東京博物館(両国)、ムンク展(上野)などを見学しました。これらの各種のイベントには各役員、学年幹事から同期の非会員にも参加を呼びかけ友の会への入会を勧誘する場ともなっており、例えば、当会の川口恒夫会長(学12)も同期4名と横浜開港150周年の散策(平成21年:2009)に初めて参加し当時の小川前会長から中華昼席のビール勢いで全員が目出度く入会された経緯にあります。このようなケースはその後度々あり散策は会員入会の一助としての重要な役割を果たしています。東京支部の皆さんにはリタイヤした先輩と交流しながら貴重な人生経験を学ぶ絶好の機会ですから、60歳を待たずに友の会への入会を大いに歓迎いたします。(但し、活動は土日を除く平日の昼間です)



## 八大学ラグビー OB 親善大会に参加して①

学 35 林田 圭史

2023 年 5 月 20 日(土)に八大学ラグビー OB 親善大会 (AGF フィールド) が開催されました。八大学 OB 親善大会とは、北海道大学・小樽商科大学・帯広畜産大学・東北大学・東京海洋大学・名古屋大学・九州大学・長崎大学の全国 8 つの国立大学ラグビー部の各 OB 会が運営する OB 戦のことで、原則毎年開催されています。

今は無き長崎大学経済学部ラグビー部の OB 会 (西陵ラガー OB 会と称します) は、1998 年に八大学ラグビー OB 会に加盟しました。コロナ禍の影響で親善大会は 4 年ぶりの開催でした。学 31 回の井上勝康先輩とともにほぼ毎月開催される八大学 OB 会の幹事会に出席、議論を重ねて漸く大会開催に漕ぎつけることができました。

私たちの経済学部ラグビー部は部員不足の波にのみ込まれ、残念ながら数年前に長崎大学全学ラグビー部に吸収されてしまいました。西陵ラガー OB 会では新たな OB が誕生することがなくなり、高齢化が徐々に進行しつつあります。八大学ラグビー OB 親善大会においても参加者減少に歯止めがかからない状況下、西陵ラガー OB 会では長崎大学全学ラグビー部との関係構築に努めており、今回の親善大会には、全学ラグビー部の現役部員 4 人 (内 1 人は経済学部所属) とマネージャー 2 人を招待することができました。その結果、学部を超えたオール長崎大学として、試合出場者 10 名、応援参加者 14 名、総勢 24 名ものの方々にご参加いただきました。

Over60・Over40・Under40 と年齢別に試合は組まれます。出場していただいたのは以下の方々です。

- Over60 戦：井上勝康さん (学 31) 杉浦美徳さん (学 32 回卒)
- Over40 戦：中村 勲さん (学 36 回卒) 佐々木正章さん (学 38 回卒) 村田さん (水産学部 OB)
- Under40 戦：下川賢人さん (学 66 回卒：全学ラグビー部 OB) 中野朔也さん (工学部 3 年)・寺田 響さん (経済学部 3 年)・吉永琉真さん (薬学部 3 年) 宮崎哉斗さん (工学部 3 年)

各大学ともに試合出場者の募集には大変苦労しており、単独大学でのチーム編成は難しく、混成チームとなってしまいます。勝敗にはそれほど拘らないと言いつつも、長崎大学のジャージを身に纏っての試合となると年齢を重ねた OB でもやはり目の色は変わるようで、果敢なタックルなど現役時代さながらの熱のこもったプレーぶりには応援参加の OB の気持ちもグラウンドに引きずり込まれる思いでした。

試合後には AGF フィールド内で懇親会が開催されました。学部の壁を越えて、また、年代の壁を越えて同じラグビーを志す仲間として親交を深めることができました。現役学生さんの話によると、「かつて存在していた経済学部ラグビー部という別組織の OB さんという意識は全くなく、純粋に長崎大学のラグビー部の先輩という気持ちでわだかまりは全くありません」「今後も西陵ラガー OB 会との関係が継続されることを望んでいます」とのことでした。全学ラグビー部との関係構築を模索している西陵ラガー OB 会にとって大変意義のある親善大会となりました。懇親会の最後は各大学が順番に校歌・部歌等を披露、我々は学 32 回卒 大森謙太さんの巻頭言による高商歌を現役学生も交えて全員で肩を組んで熱唱しました。

## 八大学ラグビー OB 親善大会に参加して②

学35 林田 圭史

小雨交じりではありましたが、AGF フィールドというとても立派なグラウンドでの大会はとても思い出深いものとなりました。

この投稿を読んでいたいただいた西陵ラグー OB 会の皆さまへお願いがございます。

年代の近い世代での懇親会だけではなく、西陵ラグー OB 会各支部の公式行事や瓊林会の行事にも1人でも多くの方に参加していただくことを切に願う次第です。

顔を知らない先輩ばかりでもいいじゃないですか。西山グラウンドの思い出を語ることで世代を超えて心は通じ合えます。今度は一緒に部歌を熱唱しましょう！

## ■参加者 24 人

学22回卒：田川 恵一、学29回卒：国広 昭彦、学30回卒：大賀 雅徳、学31回卒：井上 勝康、学31回卒：岸川 泉、学32回卒：杉浦 美德、学32回卒：中村 博之、学32回卒：大森 謙太、学34回卒：河野 和成、学34回卒：赤木 浩一、学35回卒：小淵 宏、学35回卒：林田 圭史、学36回卒：中村 勲、学38回卒：佐々木 正章、水産学部OB：村田 恭一、学66回卒（全学ラグビー部OB）：下川 賢人、学66回卒（全学ラグビー部OB）：重水 淳、（全学ラグビー部OB）：阿部 太一、工学部3年：中野 朔也、経済学部3年：寺田 響、薬学部3年：吉永 琉真、工学部3年：宮崎 哉斗、活水女子大学3年：細川 理香子、活水女子大学3年：松原 美月



## ローカル鉄道のある風景を求めて～北海道篇～①

学 29 川崎 圭一

還暦を過ぎて、鉄道写真に目覚めた。何気に見ていたテレビ番組がきっかけだ。北海道の見渡す限りの原野を一両編成の列車が、寂寥感を纏いながら、しかし、力強く走る姿に心動かされた。一念発起して機材を買い足しながら完全リタイヤを果たした 2020 年 9 月、初の北海道の撮影旅行に出発、私の「撮り鉄」生活はこうして幕を開けた。

掲載した写真は、この 3 年程の間に撮り貯めた拙いながら自己満足感満載の「鉄道風景写真」であります。どうか、カメラ趣味の諸先輩方の忌憚ない厳しく暖かいご指導をよろしくお願ひします。

### 1. 根室本線 (花咲線)

花咲線は根室本線の釧路 - 根室間の非電化区間の通称名だ。ここには「撮り鉄」なら必ず訪れるであろう二つの撮影ポイントがある。第一のポイントは厚岸町の東に位置する「別寒辺牛(べかんべうし)湿原」だ。湿原を縫って快走するローカル列車と遥かに赤い厚岸大橋を展望する高台がポイントだ。私の大好きな風景だ。もう一枚は、初秋の早朝、朝霧の中を走る始発列車を撮影した。



第二のポイントは、花咲線の中でも屈指の絶景スポットである落石海岸だ。ここを訪れると不思議と同好の士と「相席」となる。ヒグマの頻出地でもあり心強い。晴天の夕刻、太平洋の穏やかな白波が寄せる中、一両編成の車両がその存在感を失う事無く夕陽に映えて快走する、これこそ、私が「撮り鉄」に嵌った原点の風景だ。



## ローカル鉄道のある風景を求めて～北海道篇～②

学 29 川崎 圭一

## 2. 釧網本線

釧網本線は、東釧路 - 網走駅間を結び、車窓には釧路湿原とオホーツク海を臨む日本でも有数の絶景路線だ。一枚目は、快速列車を釧路湿原最大の湖（沼）である塘路湖を背景に「サルルン展望台」から捉えた。因みに駐車場から展望台までの道程は2km程だが、ここでもヒグマ対策は怠れない。



二枚目は、同じく塘路湖から網走寄りにある湖「シラルトロ湖」の中央を横切る列車を湖の東から、三枚目は対岸の3kmほど離れた西の「コッタロ湿原展望台」から望遠で狙ったものだ。



釧網本線の最後は、オホーツク海に一番近く海外からも流水見物で訪れる観光客も多い北浜駅に併設された定番の展望施設から、網走市街を背景に釧路方面行きの最終列車を撮影したものだ。



## ローカル鉄道のある風景を求めて～北海道篇～③

学 29 川崎 圭一

### 3. 根室本線 (廃線予定区間)

2024 年 3 月末、富良野 - 新得駅間は廃線となる事が決定し、途中駅である TV ドラマ「北の国から」の始まりの駅「布部駅」、高倉健主演の「映画 鉄道員 (ぽっぽや)」の舞台となった「幾寅駅 (映画では「幌舞駅」)」もこの区間にある。



以下の写真は廃駅となる東鹿越駅近くの「かなやま湖」から廃線予定線を走る列車を追った。



初秋の色づき始めた紅葉の中、最後の力走を続ける列車。記念に乗車したが、来年からはこの風景を眺める事はできない。好きなスポットだけに寂しい。

最後にお見せしたいのは、根室本線の廃線区間の終点となる新得駅近く「罨熊注意」の最たる場所「増田山」から撮影したものだ。列車は今回の廃線区間をトンネル内で共用する石勝線だ。この場所は、年々、木々が成長して撮影の困難度が増すだけでなく、心無い「撮り鉄」らしき者が国有林の無断伐採を行った事で、いつ「立入禁止」となるか危惧される撮影スポットだ。



### 4. 最後に

「鉄チャン」となって三年余り、数えきれない失敗写真に落胆しつつも、豊かな日本の原風景と一体化して馴染むローカル線の力強さに癒されながら日々精進の毎日です。定年後の趣味はこれまでの「人」や「モノ」と無関係に没入できるものを探したいと思っておりました。諸先輩方並びに同窓諸氏の叱咤激励を励みに「写真道」に一層の研鑽を積みたいと思っております。

最後に、編集事務局のお取計いで作品公開の機会を頂きました事に感謝いたします。

## ボーイスカウト活動における国際交流① (ボルチモア交流実行委員長報告)

学09 木村 耕三

## (1) ボーイスカウトの始まり

創始者ベーデンパウエル卿により1907年に英国南部のブラウンシー島で20名の少年を集めてキャンプを行ったのが始まりです。

ベーデンパウエル卿(以下 B=P)はアフリカのボーア戦争で大勝利を収め、1902年に英国に凱旋帰国しました。そのころの時代背景は、列強による侵略戦争の時代で、ボーア戦争もアフリカのダイヤモンドと金を目的とした侵略戦争でした。

B=Pはその影響で英国の若者の頹廢的な状況を目のあたりにしてこのままでは英国は3流国に陥るとの危機感から青少年教育の必要性を強く感じていました。またボーア戦争において敵の情報を得るためにジャングルなどで現地の少年たちを斥候(スカウト)として利用したのが活動のヒントとも言われています。



## (2) ボーイスカウト運動の目的

少年少女が成人し、社会に出る時に立派な社会人として通用し且つ自立できる人間に育てることが目的です。その手段は「ちかい」と「おきて」の実践です。

## ① 「年齢別呼称」

1:子ども達を小学校低学年(ビーバー隊)、高学年(カブ隊)、中学生(ボーイ隊)、高校生(ヴェンチャー隊)、18歳~25歳(ローバー隊)と5段階に分けて夫々の年代にマッチしてカリキュラムの実践を通して活動を行います。

## ② 「ちかい」とは

私は名誉にかけて次の3条の実行をちかいます。

- 一、神(仏)と国との誠を尽くしおきてを守ります
- 一、いつも他の人々をたすけます
- 一、体を強くし心をすこやかに徳を養います

## ③ 「おきて」とは

「誠実」「友情」「礼儀」「親切」「快活」「質素」「勇敢」「感謝」の実践です。「ちかい」と「おきて」の実践により次のことを学びます。

## 1; 備える力

ボーイスカウトのモットーである「そなえよつねに(Be Prepared)」は、何事に対しても必ずやり通すために常に準備をしておくという意味。社会に出た時に、どんなことがあっても準備が整った人になる力を養うことができます。

## 2; 自然との関わり方

ボーイスカウトの最大の特徴は、自然とのふれあいの中で生きる力を育んで行くこと。野外活動を通し、テーマを持って自然との関わり方を考えます。

キャンプをしながら設営、料理やロープワークなどを学び、不便な状況をいかに技能、知識、チームワークで解消できるかを自主的に学びます。

## 3; ボランティア精神

緑の羽根募金やユニセフ募金、地域の清掃活動やイベント時のプラカード持ちなど様々なボランティア活動に参加。そこで人の役に立つことの大切さや人を思いやる気持ちを学ぶことがで

## ボーイスカウト活動における国際交流② (ボルチモア交流実行委員長報告)

学 09 木村 耕三

きます。

### 4；自分の身の守り方

救急法を含めてキャンプやハイキングなど、現地で実際に身の守り方を教わり、事故を防ぎます。危険な場所、行動、動物、植物などを知ることは身を守るためにも必要な知識です。

### 5；自主性

一人ひとりに役割が与えられることで、自主的に行動するようになります。異年齢で小グループを作り、キャンプやハイキングを行うことによって自ら進んで行動ができるようになり、自主性が養われます。

### 6；計画性

高校生になるとそれまでに習得した技能を、自らプログラムを計画して応用していきます。自分の設定した目標に向かい、進級制度の最高章である富士スカウト章取得を目指します。進級制度はモチベーションアップに繋がります。

### 7；協調性

ボーイスカウトでは様々な年齢の人たちと活動してきます。時には仲間と意見がぶつかったりしながらも、目標に向かって助け合っていくことで協調性が身につくのです。

### 8；上下関係を知る

年齢の異なる仲間と活動することは学校でもあるかと思いますが、ボーイスカウトの活動内容はとても密で、時には過酷なもの。その中で目上の人を敬い、指示に従うことは社会のルールを学ぶことにも繋がります。

### 9；国際理解

4年に一度、世界スカウトジャンボリーというスカウトの大会が開かれます。世界 150ヶ国以上から仲間が集まり、およそ 2 週間にわたってキャンプを行うことで世界中のスカウトと関わり、世界と向き合っ国際理解を深めて行きます。

### (3) ボーイスカウト経験者は広い分野で活躍されています。

- 岡田武史、貴乃花、辰巳拓郎、宮川大輔、山下泰裕、野口壮一、金田賢一
- 樋口康雄、増岡浩、野口健、清水アキラ、宮川大介、布施明、マイク眞木
- 渡邊宏之、奥田英二、吉川浩司、久留島武彦、橋本竜太郎、小池百合子、
- ベッカム、ヘンリーフォンダ、ポールマッカトニー、スピル・バーク、米国大統領

### (4) 国際交流＝平和を目指して

①ボーイスカウトの創始者 B=P 卿は、1900 年前後の侵略戦争により国々が頹廃していることを憂い、子供のころから異国同士の交流を行えば戦争は起きないとの信念から世界ジャンボリーの開催に意欲をもっていました。

ところが 1914 年に世界一次大戦が勃発し、ようやく 1920 年にロンドンにて「世界平和を発展させる」を合言葉に約 50 の国々から 3,000 人参加の世界ジャンボリーを開催することが出来ました。日本では 1971 年に第 13 回世界ジャンボリーが静岡県の朝霧高原で、2015 年には第 23 回世界ジャンボリーが山口県きらら浜で開催されました。

これには私は神奈川県の出遣隊長で参加しました。



## ボーイスカウト活動における国際交流③ (ボルチモア交流実行委員長報告)

学 09 木村 耕三

2023年8月には韓国で第25回世界ジャンボリーが開催され、約180の国から約3万人が参加しました。

## (5) 米国メリーランド州ボルチモアとの国際交流=2023年に29回目の交流を実施

私は実行委員長を拝命しましたのでその報告を致します。

## ■ 「2023年7月22日来日~8月7日帰国までのスケジュール」

- ・7月22日 15時 羽田着 ホストファミリーとの対面式
- ・7月23日 ウェルカムパーティ
- ・7月24日~25日 host family day
- ・7月26日~30日 富士山登山・八ヶ岳青少年の家にてキャンプ
- ・7月31日 host family day
- ・8月1日 川崎市長表敬訪問
- ・8月2日~4日 host family day
- ・8月5日 sayonara party
- ・8月7日 羽田空港から一路ワシントン DC 空港に向けて出発



2023年7月22日ワシントン DC 空港から14時間のフライト後、羽田空港着・国際交流センターにてhost familyと対面式。10人のボルチモアのスカウトと日本の受け入れ10家族。



8月27日 富士山山頂にて=富士山登山は本事業のメインイベントです。

ボーイスカウト活動における国際交流④ (ボルチモア交流実行委員長報告)

学09 木村 耕三



富士山登頂証明



8合目にて



7月28日 八ヶ岳青少年の家の楽しいキャンプファイヤー



川崎市八ヶ岳青少年の家にて

ボーイスカウト活動における国際交流⑤ (ボルチモア交流実行委員長報告)

学09 木村 耕三



8月1日川崎市役所表敬訪問 福田市長と記念撮影  
ボルチモア市長より親書贈呈有



8月3日 浅草観光 雷門前にて



8月3日 浅草観光 浴衣の体験

ボーイスカウト活動における国際交流⑥ (ボルチモア交流実行委員長報告)

学09 木村 耕三



8月4日 日本文化の体験 和太鼓体験



女子スカウト (名取) の日本舞踊



茶道体験



三味線体験



8月4日 盆踊りに参加しました

## ボーイスカウト活動における国際交流⑤ (ボルチモア交流実行委員長報告)

学 09 木村 耕三



8月5日 さよならパーティー  
ボルチモアのスカウトがお世話になったお礼に手作り料理を振る舞いました



8月7日羽田空港にて。楽しかった17日間の日本のスカウトとの交流を終えて一路ワシントンDC空港へ。2024年はボーイスカウト川崎地区から20名のスカウトの派遣予定。(筆者も同行予定) 2024年はボルチモアで会いましょう!

### ■筆者略歴

1985年：ボーイスカウト活動を始める  
1987年：日本ボーイスカウト川崎第54団団委員長  
1990年：日本ボーイスカウト川崎地区役員  
2005年：日本ボーイスカウト神奈川県連副理事長  
2012年：日本ボーイスカウト川崎地区協議会長

### ■現在の役職

神奈川県少年少女育成指導協会理事  
川崎市青少年育成連盟理事  
日本ボーイスカウト神奈川連盟顧問  
日本ボーイスカウト神奈川連盟維持財団顧問  
日本ボーイスカウト川崎地区副協議会長  
日本ボーイスカウト川崎地区賛助会会長  
日本ボーイスカウト川崎地区川崎第54団団委員長

明日を担う青少年のために、ボーイスカウト活動を今後も出来るだけ永く継続して参る所存です。老害にならないよう気を付けながら!

## 「IT スタートアップ創業者の道」

学 65 山下 大貴



私は株式会社 Garoop 代表取締役山下大貴です。  
現在スタートアップを創業しました。

また会長にはインドに精通した長崎大学経済学部 OB で丸紅出身の西橋時男氏を据えております。

私のキャリアは、大学時代に財務会計を専攻していたことから始まります。その後、IT 企業でシステムエンジニアとしての経験を積み、Web システム開発の分野で実力をつけました。

2023 年 4 月 17 日、私はこの豊かな経験を活かし、子供向けに教育も絡めたクラウドサービスを提供する株式会社 Garoop を創業しました。

スタートアップとしての挑戦は、日々変化し、刺激的な毎日をもたらしています。

Garoop のビジネスは、経済発展が著しいインドの Fintech 創業者との提携を通じて、グローバルな市場への展開を目指しています。私たちの目標は、世界を舞台に教育のイノベーションを創出することです。

また、長崎の地方創生にも力を入れており、現在は東京恵比寿に本社を構えつつも、将来的には Garoop の本社を長崎へ移転する計画を持っています。

起業家としての道は決して容易ではありません。資金の不安、従業員との関わり、雇用、マネジメントといった多くの課題がありますが、そのすべてがやりがいに満ちています。戦略を考え、実行に移し、他者との提携や協力を通じて成長する経験は、何物にも代えがたいものです。さらに、少子高齢化の時代においては、子供たちに起業家マインドを育むことが重要です。テクノロジーの進化により、AI などを活用して生産人口の減少を補い、成長を促すことが可能です。私たちのサービスは、単なる暗記に偏らない、現代のテクノロジーに適応した教育を提供し、未来を担う子供たちに真の価値をもたらします。これらの取り組みを通じて、私は新しい時代をリードしていく決意を新たにしています。

現在、株式会社 Garoop は新たなステージに立っています。私たちが手がける Web サービスの試作品が完成し、その可能性と未来を広げるために、企業の協賛やスポンサーを積極的に募集しています。この試作品はただの始まりに過ぎず、今後の発展が非常に楽しみです。また、私たちは単に Web サービスに留まらず、日本企業のインド市場への進出をサポートするという、もう一つの重要な事業を展開しています。この取り組みは、日本企業にとって新たな市場への扉を開く重要なステップであり、Garoop が世界に羽ばたくための大きな一歩となるでしょう。

これからも、長崎を代表する起業家として、挑戦と革新を続けます。皆様の温かい応援とサポートが私たちの力となります。株式会社 Garoop のこれからの活動にご期待ください。今後とも、ご支援とご声援を心よりお願い申し上げます。

## 私の会社紹介 ～ 株式会社 QUICK ～

学 68 月 足 亮 介

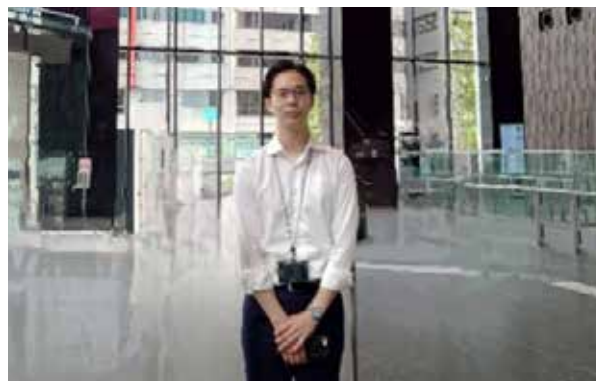
私は生まれてから大学卒業までの 22 年間で九州で過ごし、2020 年 4 月に上京しました。就職と共に東京での生活がスタートしましたが、そのタイミングがコロナ禍初期にぴったり重なってしまったため、先が見えない中、不安を抱えての社会人デビューとなりました。今回は「私の会社」についてご紹介します。瓊林会の先輩方の中には証券業界の方も多くいらっしゃいますが、「私の会社」である株式会社 QUICK は、証券業界と密接な関係にあります。

QUICK は 1971 年の創業以来、日本の証券・金融市場を支える情報インフラとしての役割を担い続けています。証券会社や金融機関をはじめ、機関投資家や事業会社、個人投資家の方々まで幅広い皆さまの投資における意思決定をサポートすることが使命です。公正・中立な立場から、付加価値の高いグローバルなマーケット情報をお届けしています。プロ向けのニッチなことをやっている会社に見えますが、「日経平均株価」をはじめ日本を代表する指数の算出や、新聞などをはじめとするマスコミへのデータ提供も行っています。その他にも証券会社・金融機関のオンライントレードやインターネット上のサービスでも QUICK のデータは使われています。私は QUICK の中でも営業部門に所属しており、証券会社・金融機関の担当営業として日々業務に取り組んでおります。入社から間もなく 4 年が経過しますが、まだまだ知らないことも多いので毎日が勉強の日々です。

創業以来マーケット関係の情報配信を生業としている弊社ですが、最近是非金融の分野にも力を入れています。昨年 8 月に石川県がサービスを開始した新しい広報関連サービス「デジヒロシ」では、QUICK が開発した生成 AI を活用した新しいサービスである「QUICK Smart Brain」(QSB) が使われています。デジヒロシは、AI が自動生成した県政関連の広報コンテンツを発信する全国初のサービスで、生成 AI と動画合成技術を組み合わせた全く新しい広報ツールです。石川県の馳浩知事を広報キャラクターに、音声と動画でコンテンツを読み上げるもので、日本語だけでなく 40 カ国の言語で発信することができます。プレスリリースや文化・観光・スポーツなどのイベント、季節の情報や災害、保健福祉など多岐にわたる情報を効率的かつ正確に提供します。年初、石川県は能登半島地震で大変な被害を受けました。我が社の提供システムが少しでも復興のお役に立てればと願うばかりです。YouTube や X (旧 Twitter) で実際に配信されている情報をご覧ください。興味のある方は是非検索してみてください。



※ QUICK 開発の石川県広報関連サービス「デジヒロシ」



※ 株式会社 QUICK の入居する日本橋兜町「KABUTO ONE」1 階ロビーにて

## 日本寮歌祭に参加して母校を思う①

学 30 木村 直樹

昨年 1 1 月 2 6 日に開催された第 6 3 回日本寮歌祭に参加して、集まった同窓生のみなさんと互いに肩を組み高商歌「暁星淡く」を歌った。当日の参加者名簿によると参加校は 35 校（他校応援の重複を除く）で参加者数は 2 3 7 名、我々が長崎大経済学部（長崎高商）の参加者数 2 1 名は上位 3 番目の大人数で、舞台上でのパフォーマンスも大いに盛り上がった。一方参加校の約半数の 1 6 校が 3 名以下、そのうち半数の 8 校の参加者は 1 名であった。広い舞台での少人数の寮歌披露はいささか寂しいものになってしまう。大声を張り上げてみなで歌う高商歌には格別のものがあるが、参加するたびに何とも言えない寂寥感が増してくるようになって久しい。他の学校の参加者数の減少への寂しさと、寮歌というある時代を象徴する無形のものや伝統を継承することの難しさを感じてしまうからだと思う。久々の寮歌祭参加で様々なことを思い出したのをきっかけに、日本寮歌祭 3 0 年の歩みを記した「青春の譜」という古本まで購入して読むまでになってしまった。

思い返せば、4 4 年前の 1 9 8 0 年 私に大学 3 年生の頃のサークル幹事会の活動の一つに日本寮歌祭への参加があり、その参加メンバーになったことで私は寮歌祭を知ることとなった。バスケットボール部に所属していた私は、サークル幹事会長の野球部植木君、応援団長の田中君、柔道部の実藤君らとともに第 2 0 回の日本寮歌祭に初めて参加した。上京する寝台車での深酒に加えて到着後の景気づけの盃で不謹慎にもフワフワした状態で会場の日本武道館に入り、その広さと参加者の熱気に驚きを感じながら学生服で高商歌を歌い踊った。参加校は 6 1 校、参加人数の記録はないが会場選びの目安が 2 ~ 3 千人だったらしいのでその位だと思う。とにかく盛大で底抜けに明るく無邪気なおじさんのパワーに圧倒された印象だった。後に知ったが日本武道館での開催はこれが最後で、第 2 1 回からは会場が日比谷公会堂に移った。勤務地が東京になったこともあって、私は卒業後も極力参加することとなる。日比谷公会堂では、参加校は舞台上での歌唱となったので、中央に舞台が配置されて、会場全体に混然一体感のあった日本武道館での大宴会のような大騒ぎから、発表会に似た雰囲気変わった。また会場が狭くなったので隣の日比谷公園が多くの学校のリハーサル場になった。参加校はお互いにリハーサルを見物しながら本番の健闘を誓い合ったりしていた。

中でも百人を優に超える大所帯の海軍兵学校や陸軍士官学校 OB の一糸乱れず颯爽とした歌と行進のリハーサルは圧巻で、頼もしさすら感じたのを覚えている。旧制高校と軍学校が同居している日本寮歌祭に当時の私は特段の疑問も抱かずにいた。が、陸軍士官学校の OB が本番後に舞台から退場する際に、旧制高校の OB から「お前らなんでここにいるんだ！」とやじられ「卑怯者！」と返すいざこざを目撃した時は、我が国の歴史を垣間見たようでショックだった。その後数年を経た頃から寮歌祭独特の活力が感じられなくなってきた。参加者の高齢化が進んで、歌い踊り、たまには言い争っていた熱く元気な方々が目に見えて減ってきたのだ。当時のわが校ではほとんどの学生が高商歌を当たり前で歌うことができたので、校歌が世の中から取り残された遺物になるようなことを実感するようなことはなかったが、長崎高商の伝統が色濃く残り、変わらぬ校歌を歌い続けているのは、片淵キャンパスという単独の学舎があったからこそそのかなりレアなケースであることに気づいた。

このころから伝統を引き継ぐには恵まれた母校の状況を喜ばしく感じる一方で、継承が困難



## 日本寮歌祭に参加して母校を思う②

学30 木村 直樹

な学校が気の毒で以前のように寮歌祭を心から楽しむことができなくなってきた。さらに、転勤もあって2000年頃からは寮歌祭から自然に足が遠のいていってしまった。その後全国規模の日本寮歌祭は2010年をもって一旦閉幕となり、一つの時代の終焉を感じていたが、規模を縮小してもなお活動を継続していた中央寮歌祭が中心となって、なんと2018年に日本寮歌祭は復活を果たしたと知り驚いた。さらに、直後のコロナ禍で3年分が延期されたにも関わらず、去年は第63回日本寮歌祭を実現させた。日本寮歌祭実行委員会の粘り強さは恐るべきですらある。

去年の日本寮歌祭に、五高の寮歌「武夫原頭に」を涙ぐみながら歌っている若い女性がいた。気になったので、涙の訳を聞いてみた。驚いたことに五高や熊大とは全く関係のない人だけど、ただただ寮歌が好きで、知り合った五高のOBの仲間に入れてもらって参加したとのことで、みんなで一緒に歌っていると泣けてくるのだそうだ。日本寮歌祭としては、寮歌という歌を後世に残すべく、学校とは無縁の人達にも幅広く門戸を開いて参加者を募っているのだから、今後はこのような人達が伝承の担い手になってゆくのだろうが、私には入学して先輩方から高商歌や三山緑を教わった時に感動して泣いた記憶はない。

ただ、今歌うと学生時代の思い出が甦ってくるし、初対面の人であっても一緒に歌っただけで強力な絆を感じるのは、校歌には学生時代の思い出がぎっしり詰まっていた世代が変わっても共有すべき精神が宿っているからなのだろう。

一昨年のことだった。我々が長崎大学経済学部バスケットボール部廃部という衝撃の一報がバスケットボール部のOB会である長籠会の間を駆け巡った。廃部理由はコロナによる部員の減少である。練習もできず新入部員もいないのが3年間も続くと当たり前といえば当たり前ののだが、長籠会メンバーの母校のよりどころがあまりにもあっさりとなくなったような気がして愕然としたのを思い出す。

何とかならないのかとOB どうしで考えても埒が明かない。現役学生が部活を復活させてくれるのを待つしかない時期が続いてもやもやしていたが、最近になって何とも嬉しい復活のニュースが舞い込んだ。それこそ、あっぱれな後輩が出てきて一安心といったところなのだが、ふと、バスケットボール部のあっぱれな後輩は、高商歌を歌えるのかな？と思い始めた。

コロナ禍で教室での授業もままならなかった状況では、友人と同じ時間を濃密に共有するような学生時代を過ごすのも難しかっただろうし、高商歌の伝承については推して知るべしかもしれない。長崎に帰省したら、部活に顔を出して大切な後輩に会って確かめよう。

もし伝承されていたらとても嬉しいし、超超あっぱれだ。もし途切れていたら、「世代を超えて青春を永遠に共有できるよ」と高商歌を歌うことを勧めてみよう。粘り強い活動を始めるのは早いに越したことはない。

## 日本寮歌祭に参加して母校を思う③

学 30 木村 直樹

神津康雄著 「青春の譜」より

寮歌—それは青春の泉である

若き日の高校生活は、まず寮歌から始まった。寮生活の伝統の中で学び、考え、そして行動する時に、寮歌は常にその源泉となって彼らを育み、青春の喜びは寮歌となって迸り、すべての悩みは寮歌によって洗い流された。

～中略～

だから今、再び寮歌を口ずさむと、その泉からはたちまちにして青春の日が甦り、若き日の血潮が沸々と湧き出して身内にたぎってくるのを覚える。リバイバルと人というが、寮歌を歌うのは決して懐古趣味ではなく、わが青春の古き泉を訪ねてみずからの姿勢を正すとともに、さらに次の発展への若々しい力を汲み取るために進軍譜を奏でるのである。



第 63 回日本寮歌祭にて高商歌高唱



画像左端が小生



在京バスケ OB (長籠会) 飲み会 2023 年 3 月

## 東京に残る長崎偉人の足跡～高島秋帆について～①

院16修 中村 奈美

はじめに。皆さんは、東京で過ごしている生活のなかで、ふと、長崎ゆかりであることを感じることがないでしょうか。いつも通る場所や、日常生活を過ごすなかで、実は過去に長崎のなんらかの関連があったを知ると驚きや、親近感がわいてちょっぴり嬉しくなることなどないでしょうか。実にこの感覚が多くあり、歴史をもっと知っていたら長崎の生活も楽しめたのではないかと残念に思う時もあります。そこで、どうせ東京にいるのなら、江戸にある長崎探しをして共有し、多くのひとと一緒に楽しもうじゃないか。と考え行動することにしました。

私は、長崎市公認の長崎伝習所塾という長崎市の活性化のためのボランティア活動を東京で行っています。第一段は、長崎半島である長崎市南部全域を知ってほしくて、「長崎・野母半島パワースポット発信塾」として、長崎の地元民が価値を知らないままの歴史や神社仏閣、食文化を紹介しています。地味な地元応援活動です。この活動の延長として、第二弾として、東京にある歴史のなかで長崎ゆかりの人物が貢献していた事や、なんらかのことや建物など、あまり知られていないことを掘起こし、紹介していく「渋谷・長崎歴史文化情報発信塾」として活動を始めています。『ここにもあった江戸の長崎!』と、宝探しを楽しむかのように動いています。塾活動の目的は、日本が進化していくなかで、貢献した長崎の偉人達があったことを多くの人に知ってもらうことで遠い長崎を身近に感じ、興味を持ってもらいたいこと。また、東京在住で、なんらかの形で長崎にゆかりのある方には、一種の郷土愛（第二の故郷でも）を持ち、長崎に思いをはせてほしいこと。なにより地元長崎の人たちには、歴史的価値を知り、街に残る建物や文化財を守ってほしいと願いを込めて活動をしています。

塾長は、古写真研究者の私大教諭で渋谷龍馬会の会長です。東京出身ですが、長崎大学の本校で研究生として過ごしていた経験もあり、長崎に馴染みを持つ人です。副塾長は長崎の小曾根献堂の末裔にあたり東京在住です。献堂は書家。篆刻家で幕末志士達のパトロンにもなっています。個人所有のグラバー園周辺の土地を幕府に提供したり、出島建設のための工事資金を出した一人です。明治政府になったときに国が初めて国璽（国の印鑑）を作りますが、これを彫った作家でもあります。坂本龍馬の妻おりょうを家に住ませ生活の面倒をみていたので、彼女が使っていた月琴が長崎の小曾根本家には残っています。こういう素晴らしい長崎人がいたことも長崎市民には、あまり知られていません。塾生には、ほかにも歴史上の長崎に関連する偉人の末裔の方々（坂本家当代、勝海舟、榎本武揚、上野彦馬、平井希昌、伊藤博文など）にも参加してもらっています。情報整理して大変ですが、活動はとても面白いです。

長崎といえば、トーマス・グラバーや坂本龍馬、勝海舟などが歴史上の人物として挙げられますが、殆どの有名な人物は、他所から長崎に来て活躍した人ばかりです。長崎で幼いころから育ったからこそ多くのことを普段から見て、触れる機会を得て、それなりの重要な役割をもち国のために貢献した長崎人もいるのですが、なぜか地元長崎でも知られていません。否、長崎こそ、知らないというのが正しいかもしれません。東京には貢献していた軌跡がいくつも残っていますし、訪れてみると知らなかったことばかりで、とても楽しめます。当時の彼ら、彼女らの影響力の強さも実感できます。もっと多くのひとに知ってほしいです。一方で、長崎には、その方々の名残のある家や場所が残っていても、知られないまま、ほぼ放置状態。このままでは風化していく状態にもあるので、今回をきっかけにして少しでも知ってもらえたらと願っています。

そこで、塾の一年目は、日本の近代化へ貢献しながらも、あまり（ほぼ）知られていない

## 東京に残る長崎偉人の足跡～高島秋帆について～②

院16修 中村 奈美

長崎出身（長崎生まれもしくは長崎で育った）の人物に焦点をあて紹介する予定です。今回、私が推して担当している長崎生まれで、日本の近代化に向かうきっかけを作った一人である「高島秋帆」について、東京瓊林会でも少し紹介させていただきます。高島秋帆については、私よりもっと詳しくご存知の方も沢山おられると思いますが、稚文に少しお付き合いください。

## 西洋砲術火家 高島秋帆

高島秋帆は、1798（寛政10）年に長崎で生まれました。父四郎兵衛は、出島台場を守る長崎警備の重責を担っていた町人。秋帆は、幼いころから文学好きで利発で学問に励み、蘭学に興味を持ち語学を習得し、絵心もあったようです。1808（文化5）年、秋帆が11歳のときにイギリス軍戦フェートン号が、オランダ船に化け長崎港へ入港、二名の商館員を人質にとり、水や食料を積ませた後に長崎港を立ち去り、当時の長崎奉行、松平康平は責任をとり切腹。と、いう有名な「フェートン号事件」を父にいつも連れられていた秋帆は事件を目の当たりに見ます。当時は、オランダとイギリスは交戦中で、子ども時代の秋帆にとっては緊迫した海外情勢を知ることとなり、日本は大丈夫か？と、国防意識が芽生えたと言われています。この頃の長崎は、日本で唯一の国際貿易港であり、国防の防波堤という重要な役割もありました。フェートン号事件の前には、ロシアが通商を申し込んできたのを出島商館長ドゥーフの意見を聞きロシア使節団を退去させたことで、数年後にはその報復として択捉島を襲撃し、日露関係が悪化するなど緊迫もあっています。そういう事をまざまざと、長崎で聞いていた秋帆は、警備の必要性を常に感じていたようです。

父は、実際に当時の荻野流砲術の奥儀を習得し、師範役を務めていました。秋帆が21歳の頃には、町年寄見習に就任し、出島に自由に出入りしオランダ人達と仲良くなります。秋帆はオランダ商館の世話をしながら、船に装備された大砲はじめ武器に触れ、海外でのアヘン戦争のこと、香港の話などを知り、日本も植民地になりかねないと危機感を持ち、幕府に進言しますが、誰もが日本が負けるわけないと、全く取り合わなかったようです。そんななかで秋帆は、当時のオランダ商館長のステュルレルと親しくなります。ステュルレルは、ナポレオンが破れたワーテルローの闘いに従軍した軍人で、元陸軍大佐。その彼から直に西洋兵器、西洋兵術を熱心に学びます。蘭学に長けていた秋帆は、この頃からオランダから銃砲や兵術書をしきりに輸入し、独自で理論や技術の研究習得に努めます。そして、西洋式を取り入れた独自の高島流砲術をつくりあげ、1835（天保6）年には、洋式砲モルティール砲を鑄造します。これを佐賀の武雄鍋島家は採用します。これにより、高島流砲術が本格的に戦術として広まっていきます。この頃、秋帆は町年寄本役となり、江戸にも名が聞こえるようになります。



旧高島別邸 長崎市東小島町

## 東京に残る長崎偉人の足跡～高島秋帆について～③

院 16 修 中村 奈美

1841（天保 12）年 5 月、幕命により、今の板橋区にあった徳丸原（とくまるがはら）で、秋帆は弟子 99 人と共に西洋式砲術調練を披露します。大砲の爆音が轟き、砲弾は遠くまで飛び、その破壊力の大きさに人々は恐れ驚いたと記録されています。和式の射撃は、一人ひとりを打ち抜くことに優劣に重点を置くことに対し、西洋式は組織的な兵術。大勢を打ち抜くことに重点を置いており、これを独自に其々の良いところを取り入れたのが、高島流砲術となっています。これら集大成を見事に披露しました。この歴史的な瞬間を見たのは、幕府の検分者や、各地の大名、蘭学者、砲術師に町民のやじ馬など、約 2000 人とも 3000 人とも言われています。中には勝海舟もいました。ここから、日本は軍事力の強化が始まり、佐賀鍋島では国産の反射炉をつくり、鉄の鑄造技術を進化発展させ、日本は開国に備えていきます。工業近代化の始まりです。

そんななか、秋帆は洋学派（革新派）と和学派（保守派）との軋轢のなかで、長崎貿易の役員でもあったことから和学派の一味から、不正の言いがかりをつけられ、約 11 年間投獄されます。世界中から、通商条約締結を迫られた日本でしたが、1853（嘉永 6）年にペリー来航で海防策が急務となり、秋帆は釈放。このときには名前を嘉平と改め、日本は世界を広く見て開かれるべきだと、平和開国通商「嘉永上書」を幕府に提案します。50 代を超えていました。晩年は、東京都文京区で過ごし、薩長同盟からの激動の幕末を見届けることはなく、1866（慶応 2）年に亡くなります。

昭和 40 年代の高度成長期に板橋区は、秋帆が弟子たちとともに披露した「徳丸原」にマンモス団地をつくります。ここを高島秋帆の名前からとり、町名を「高島平」とします。長崎町人から、西洋砲術家となった秋帆。鎖国時代の日本で唯一、世界的視野で日本を取り巻く状況を見る視点を持ち、環境から培った能力を生かし、日本を守るために行動力で示し、国を動かすきっかけを作った偉人であったと、もっと注目して欲しいと思います。改めて彼のことを知ってほしいと心がささやき動いています。



## 秋帆の軌跡を訪ねて。

長崎市には、高島旧別邸が、国指定文化財として残っています。堅牢な石垣が立派で人目を惹きます。敷地内には鉄砲射撃跡ついている石もあります。多分日本で最古の弾薬庫と言われる建物が残っています。ここは別邸ながら広大な敷地で石灯籠や石垣は見応えがあり、当時の高島家の地位が窺えます。長崎に行かれた時は、思案橋からも歩いて 10 分ほどで行けますのでぜひ立ち寄ってみてください。

東京では、文京区本郷にある大円寺に秋帆と息子の墓があります。墓には東京大空襲のときに受けた爆撃弾の被害の爪痕が残っています。亡くなってからも、なお弾薬武器に関わるなど、

## 東京に残る長崎偉人の足跡～高島秋帆について～④

院16修 中村 奈美

ある意味、日本の国防の必要性を常に見つめ続ける人なのかもしれません。今後には、もうそのような事は無く平和な国でいられることをお願いしてきました。同町にある秋帆の晩年過ごした所には当時の井戸が残っています。一般人の民家のため、運がいい方は見せてもらえます。

板橋区には、高島平駅から5分程歩いた徳丸ヶ原公園には、当時のことを記す碑があります。そこからバスで5分ほど移動すると、曹洞宗の松月院があります。ここの宝物殿には幕府からの朱印箱や様々な物を見ることができます。秋帆の関連のものもあり、貴重な歴史を垣間見ることができます。境内には、火技中興洋兵開祖高島秋帆紀功碑があり、大砲と弾を記念碑にして称えています。いかに秋帆が偉大だったかを知ることになります。松月院から坂をぼちぼち下っていくと、板橋区立郷土資料館があります。ここには、本当に豊富に資料が展示されており、勉強になります。鎧兜と火縄銃から始まり、西洋式の銃、武雄で作ったモルティール砲のレプリカや、当時の西洋式大砲、手書きの射距離を計算式や記帳されたものや、絵画など、ずらりと展示されて、とても面白く勉強になります。



江戸東京で長崎の偉人に触れる。楽しむ。

秋帆のことを調べるうちに多くの方に協力いただくこととなりました。板橋区には、高島秋帆を師と仰ぎ、「高島流砲術 西洋流火術鉄砲隊保存会」の方々がおられます。例年、板橋区民祭りでは、当時の衣装を纏い、鉄砲で空砲を撃つ演武を披露しています。この会の皆さんにガイ

## 東京に残る長崎偉人の足跡～高島秋帆について～⑤

院16修 中村 奈美

ド役として色々な関連スポットを紹介してもらいました。また松月院の和尚、板橋区職員の学芸員さんには、丁寧に資料も提供いただき教えていただきました。また、板橋区長に連絡をとってみたところ、塾活動について、たいそう喜んでいただき私たちの知らぬところで、いつの間にか色々動きだしてきました。とりあえず、引き続き頑張ります。

今年度は、長崎出身の偉人に絞り、小曾根献堂、高島秋帆、写真術を創った上野彦馬（坂本龍馬の写真撮影など）、幕末の長崎奉行役人で後に明治政府の高官となり大久保利通ら外交の仲介役を務めた唐通詞の平井希昌を纏めています。2年目からは、シーボルトやその娘と孫娘、榎本武明、本木昌造など、長崎にいて礎をかため、日本に貢献した人らを考えています。私たち塾では、紙面で紹介するだけではなく、これを機に「東京江戸版の長崎さるく」と称し、公共交通機関を使ってポチポチと歩きながら東京にある長崎を楽しめるコースを探り、実際に訪れる楽しさと共に紹介していこうと考えています。

上述の皆さんや各方面から協力いただけると、盛り上がっていますので、近いうちいつか、「江戸版長崎さるく」を瓊林会の皆さまにもご紹介させていただきます。その時は、皆さまぜひとも、東京ポチポチあるきにご参加ください。

何より、日本の中心地において、長崎ゆかりの事がこんなにあったのだと改めて知り、遠い長崎を身近に感じ、楽しんでいただけたら嬉しいです。



板橋区長と西洋流火術鉄砲隊保存会の皆さまと



塾生

長崎マンドリンアンサンブル (NME) 第 17 回ファミリーコンサート開催①  
 学12 川口 恒夫



恒例の NME の第 17 回ファミリーコンサートが昨年 11 月に北千住シアター 1010 で開催されました。この催しは瓊林会東京支部の後援の下、当日は国広支部長他瓊林会の皆さん始め、昨年にも増して多くの方々にご来聴頂きました。その様子は東京支部のホームページにも掲載して頂き、有難うございました。

当日のプログラムは皆さんには聴き覚えのあるポピュラー曲を中心に編成しました。中でも昨年亡くなった坂本龍一の作曲で映画「戦場のメリークリスマス」のテーマ曲は時期的にもピッタリの曲と思い、一同感情を込めて演奏しました。その他「雨に濡れて」や「Only Yesterday」そして長崎に因んで 原爆記念日に純心女子高校生の合唱で有名な長崎出身の大島ミチル作曲で長崎市役所の待ち受けのメロディにも採用されているという「千羽鶴」や玉城千春の作曲で・・・ほら足元を見てごらん・・・の歌詞でお馴染みの「未来へ」そしてアンコール曲として定番の心に染み入る名曲「長崎の鐘」を演奏しました。特にこの曲は長崎に所縁のある人々にとっては何回聴いても胸を打たれる名曲で素晴らしいフィナーレとなりました。瓊林友の会のネットでも配信しましたが好評でした。

一方、親団体に当たる長崎マンドリンクラブ OB & OG 会ではコロナ明けて 4 年振りの昨年 11 月末に長崎で「夢コンサート in 長崎」が開催され、東京の NME から数名の仲間が参加しました。

Program		Member	
第 1 部			
She'll Be Coming Round the Mountain (3:24)	作曲: 不明	指揮者	川口 恒夫
愛の嵐 (3:01)	作曲: 不明	演奏者	山本 寛子
Only Yesterday A (3:14)	作曲: 不明	演奏者	川口 恒夫、山本 寛子、大塚 和子
Top of the World (3:14)	作曲: 不明	演奏者	川口 恒夫、山本 寛子、大塚 和子
私を導いて (3:21)	作曲: 不明	演奏者	山本 寛子、山本 寛子
I will Follow His Command (3:44)	作曲: 不明	演奏者	山本 寛子、山本 寛子
〜11月25日開演〜			
大団円 (3:44)	作曲: 不明		
〜12月〜			
〜12月〜			
〜12月〜			
〜 休憩 〜			
第 2 部			
1/27	作曲: 不明		
1/27	作曲: 不明		
1/27	作曲: 不明		
1/27	作曲: 不明		



## 囲碁海外遠征（3）アメリカ編①

学 12 高本 正

前号で囲碁海外遠征 (2) 中国編を寄稿した、第 3 回の今回はアメリカ編である。

まずはニューヨーク囲碁センターの囲碁インストラクターについて記そう。

日本棋院は第 2 代本因坊岩本薫九段基金で海外囲碁普及のために、アメリカのニューヨークとシアトル、ブラジルのサンパウロに囲碁センターを設立した。

日本からビザで滞在できる期間、囲碁インストラクターを派遣し、囲碁普及を諮る、ニューヨークの場合 3 ヶ月間である。ニューヨーク囲碁センターは USIBM に勤務し、日本に派遣されていたポール・アンダーソン氏が日本棋院から管理を任されていた。彼は初代アメリカ囲碁連盟の会長で無類の囲碁愛好家であった。彼の推薦を受けて指導に来てほしいと頼まれ、3 ヶ月間派遣された。当初私は 3 ヶ月間のパン食は耐えられないので断ったが、同じ IBM 囲碁仲間の兵藤氏が毎日味噌汁を作ってくれるというので、一緒に行くことにした。ニューヨーク囲碁センターは国連ビルに近い 2 番街のアパートの 2 階であった。土曜、日曜、祝日は午後開店、ウイークデーは夕方 5 時開店私たち二人はそこに宿泊、宿賃はたすかったが、手当は一切なし、ボランティアであった。

時期は 2003 年の 4 月から 6 月の 3 ヶ月、ニューヨークは一番いい時期だったようである。ニューヨークは地下鉄があり、移動しやすかった。マンハッタン島の南北を隈なく歩き回った。毎朝早朝散歩にでかけた。北に行けばセントラルパーク、メトロポリタン美術館、南に行けば国際貿易センタービル、中央部にはエンパイアーステートビル、五番街にはブライアントパーク、鉄道中央駅など、散策に事欠かない。マンハッタン島にかかる橋はすべて早朝散歩で徒歩でわたった。ブルックリンに下るブルックリン橋、北のニュージャージー州に抜けるワシントン橋、イーストリバーを隔てたクイーンボロへの橋、など、マンハッタン島の南にあるスタテン島のフェリーは無料だった。

食事はほとんど兵藤氏が自炊してくれた。毎日ご飯とみそ汁肉料理、魚料理をアレンジしてくれた。私は非常食用にポテトサラダを欠かさないよう作った。外食でパスタなど頼むと一人前で二人分ある、二人で一皿で充分であった、ポール・アンダーソン氏はニューヨーク郊外高級住宅地チャパカというところに住み、鉄道で 1 時間、栄養をつけるため、時々お邪魔した。奥様は日本人でステーキや日本料理を御馳走になった、

囲碁センターにお風呂がないのでお風呂もよばれた。ニューヨーク滞在もなれた 1 ヶ月後に家内と妹さんをニューヨークに来てもらった。1 週間滞在し、国立自然歴史博物館、メトロポリタン美術館、セントラルパーク、自由の女神、ブロンクスにある植物園など、ほとんど地下鉄で案内した。

音楽のカーネギーホール、ブロードウェイのミュージカルも鑑賞した。

兵藤さんと二人の時は 5 番街のブライアントパークで携帯用磁石碁盤対局のデモンストレーションを行った。立ち寄るお客さんに 2 番街にある囲碁センターに来るようすすめた。

私は囲碁ルールを知らない人に囲碁ルールを説明するのが得意なので、初心者には私がインストラクターを務めた。あるとき若い美人女性が訪れた、5 番街で仕事帰りという、ヒカルの碁という囲碁マンガで興味をもったということで、9 路盤を取り出して陣地を囲い合うゲームであること、終局の状態を示して理解してもらう。石のとりかた、死活は翌日説明するという指導法をとっている。帰り際お礼の意味だろう私にドル紙幣を渡そうとするので、囲碁指導はボランティアで指導料は取らないこと、また翌日も来てくれるようお願いし

## 囲碁海外遠征（3）アメリカ編②

学 12 高本 正

て帰ってもらった。

翌日もちゃんと来てくれたのでうれしかった。前日の復習を簡単に終え、石の取り方、死活について説明し、9路盤に5子置いてもらい実際に対局して囲碁入門講座を修了した。囲碁センターに来るお客さんはさすがにニューヨークだけあって国際的、白人もいれば、中国系、韓国系、時々日本人も来られる。適当に棋力を聴いて実戦対局し、対局後講評するという方式で幸い、兵藤氏と二人なので、多くのお客様を受け入れることができた。日曜日にはお客様同士の囲碁大会も催した。

日本では私はカメラを持ち歩かないが、早朝散歩で多くの写真を撮った。

あるとき、日本から女性プロ棋士で美人と誉れの高い梅沢由香里さんと万波佳奈さんが来訪するという話がいだったので、前日の夜遅くまで、兵藤氏と二人で、床掃除をして備えた。翌日首を長くして待ったが、予定が変わったとかで来られなかった。

ちなみに滞在3ヶ月間の間日本のプロ棋士の来訪を受けたのは山本正人六段の一人のみだった。ニューヨーク領事館主催のジャパンデーというイベントがセントラルパークであり、テントを張って囲碁将棋ブースが作られ、私は囲碁入門講座を担当した。

こうして楽しいニューヨーク滞在終え、ニューヨーク囲碁センターの活性化を少しお手伝いしたわけだが、3ヶ月間は短すぎる。同じ人が2~3年目標を立てて活性化に取り組むべきと感じた。その後数年間何度も来日してポールさんが日本棋院に存続をお願いしたが、閉鎖され、今はニューヨーク囲碁センターはない。次にUS囲碁コンGRESについて記そう。USでも囲碁愛好者は多く、毎年夏に1週間の囲碁コンGRESが開催されている。参加者はUSのみならず世界中から数百人が参加するという盛況ぶりである。開催地はUSの各地を年ごとに変わる。私も親しい囲碁仲間と一緒に3回参加した。会場は夏休み大学の学生寮が宿舎となるので、大学のケースが多い。1週間各種の囲碁イベントが設けられるが、一番人気はオープントーナメントと呼ばれる個人戦である。1日1局で7日間7局の個人戦で、毎日の成績が棋力に反映されるレーティングという方式で参加者は真剣に取り組む。

私の場合、ペンシルベニア州のヨーク、シアトルに近いワシントン州のタコマ、ウイスコンシン州のマディソンの3回である。囲碁のオープントーナメントは午前中に終わるので、午後は近くを観光する。タコマの時はシアトル、バンクーバーのみならず、モンタナ州のグレイシャー国立公園からカナディアンロッキー雄大な山岳をまわった。ウイスコンシン州のマディソンの場合、ボストンから有名なトラップファミリーロッジを回った。

ポールさんに紹介されたワシントンDC在住のアラン・アブラムソンさんと親しくなり、ワシントンDC観光、日本から贈られたポトマック川の桜が満開の時期に開催される、チェリーブロッサム囲碁大会では3位入賞したこともある。

囲碁には囲碁五得と呼ばれる言葉がある、好き友を得る、人の和を得る、教訓を得る、心の悟りを得る、天寿を得るのうち最初が好き友を得る、である。囲碁はだれとでも1局対局すると友達になる。



俳句同好会より

学12 稲山 清紀

西尾 智博(学11 東久留米市)

野村方昭(学12 さいたま市)

俳句同好会会員募集中

新婚の娘にひそとお年玉

小春日や古地図を巡る城下町

二ヶ月に一回・会費無料

梅ひらく「桃佳」「菜々美」の姉妹

独り居へもの言う家電文化の日

長崎県東京産業支援センターにて開催

にも

山内 裕介(学16 豊島区)

連絡先 瓊林会東京支部

稲山 清紀(学12 四街道市)

春蘭よ飾らぬ君はそそとして

(03 6240 0532)

つきまとふ秋の蚊払ひ庭手入れ

紫陽花の色尽くしてぞ果てにけり

病室の窓の陰りや余寒なほ

井口 篤子(学20 横浜市)

岩下 芳和(学12 八王子市)

寂しくも嬉しくもあり年の暮

彩雲の静かに生るる秋立つ日

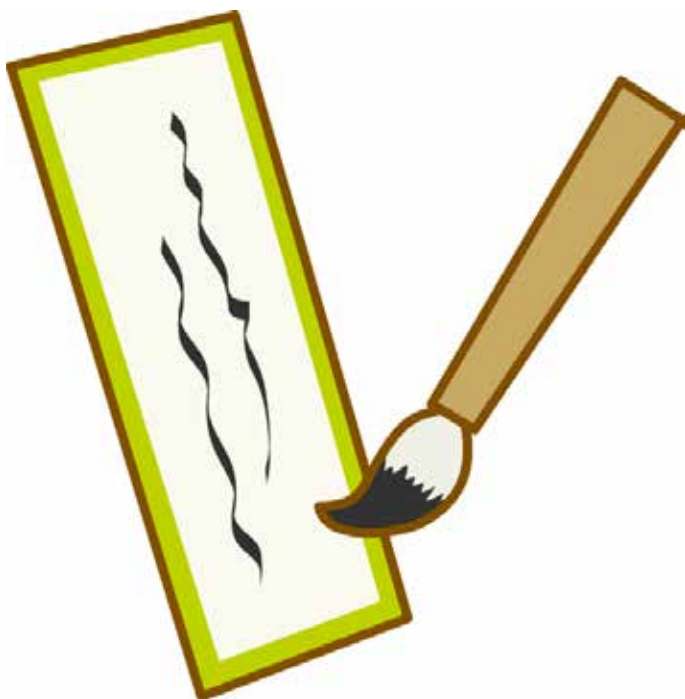
陽に雨に虹に煙霧やヒロの冬

妻さする瘦せし我が背秋の夜

高本 正(学12 品川区)

黄金色つるべ落としや五島灘

断崖にさざなみ白し椿咲く



## 長崎県の産業振興に向けて①

公益財団法人 長崎県産業振興財団 東京企業誘致センター長 尾上 聖

アフターコロナの街の賑わいが戻ってきているように感じる一方で、緊張の続く国際情勢や、それらに伴う物価高騰に加え、元旦から災害による痛ましい被害が発生するなど、我々を取り巻く環境は厳しい状況が続いており、会員の皆様におかれましても、ご心労はいかばかりかとお察しいたします。

さて、私は令和5年4月に長崎県産業振興財団に派遣となり、同年7月に長崎県東京事務所内の東京企業誘致センターに着任いたしました。中学まで長崎市沖の伊王島で育ち、長崎で就職してからも勤務先や住まいも海のそばでしたので、すぐには海が見えない暮らしに落ち着かない感じがすることもあります。前任の諸先輩方はコロナ禍で外に出られずご苦労したとのことですので、公私ともに新鮮な経験を多くさせていただき感謝しております。

まず、長崎県産業振興財団とは、長崎県内の中小企業を対象とした支援機関として平成13年に設立されて以来、地域経済の活性化と良質な雇用の場の確保を目指して、財団職員に加えて県、市町や地元地方銀行からの出向者が一体となって活動しております。

事業内容としまして「企業の取引拡大支援」「企業誘致の推進」「研究開発・事業化への支援」の3つの柱で施策展開しております。私ども東京企業誘致センターは、特に東日本エリアの企業を訪問させていただき、拠点立地に向けた工場用地やオフィスビル等をご紹介します。

私どもが長崎の魅力としてご案内しているもののうち、3点をご紹介します。

### 〈優秀な人材〉

長崎県から県外に就職する割合は高く、長崎大学を例にすると令和5年3月卒業生では67.4%です。都会に出て活躍したいという若者の思いがあるのは素晴らしいことですが、学んだことを活かして働ける企業が少ないために転出する方も多くいらっしゃいます。強みである工業系の人材の豊富さに加えて、近年はデジタル化社会に対応した情報系学部が長崎大学や県立大学に設置され、優秀な学生が輩出されています。

### 〈少ない自然災害〉

皆様が長崎で暮らしていた頃に地震を経験されたことは、ほとんどないのではないのでしょうか。各都道府県庁所在地の比較において、長崎市は今後30年以内の震度6弱以上の発生確率は札幌に次いで2番目に低いとの予測もありますので、BCPの観点から、万一の際に本社として機能することができる第2本社を、複数の保険系企業が長崎に立地されています。

### 〈生活環境〉

最近の長崎では大きな変化が起こっています。皆様が学生生活を過ごされた長崎市内は駅周辺を中心に、百年に一度と言われるスケールでの施設整備が進んでおり、しばらく長崎を訪れていない方は驚かれるのではないのでしょうか。長崎駅近くでジャパネットたかた様のグループが運営する「長崎スタジアムシティプロジェクト」は、サッカースタジアムを中心にアリーナ・オフィス・商業施設・ホテルなどの周辺施設を民間主導で開発するプロジェクトとして、2024年10月14日のオープンが非常に楽しみです。片淵キャンパスの近くのエリアでは、新大工町にスーパーマーケットと直結した26階建てのタワーマンションが建設されています。「福岡までは、行くとぼってん」という方も、是非、長崎まで足を延ばしてみてもご覧になってはいかがでしょうか。また、依然として犯罪率は低く、九州電力様のご努力により、全国平均よりも低い料金で、環境に優しく二酸化炭素排出量を抑えた電源から作られた電気が供給されています。

## 長崎県の産業振興に向けて②

公益財団法人 長崎県産業振興財団 東京企業誘致センター長 尾上 聖

最後に、会員の皆様で長崎県内での事業拡大のための用地やオフィスをお探しの方や、人材やサプライヤー確保のために長崎の企業や教育・研究機関等と連携したい方がいらっしゃいましたら、是非ご連絡いただければ幸いです。また、長崎県への移住をお考えの方には、都内有楽町に仕事や住まいに関する相談窓口がありますのでご活用ください。今後ともよろしくお願いたします。

○公益財団法人 長崎県産業振興財団 東京企業誘致センター  
 東京都千代田区平河町 2-6-3 都道府県会館 14F 長崎県東京事務所内  
 TEL：03-5212-9182

Mail：onoue.satoshi@joho-nagasaki.or.jp

○ながさき移住サポートセンター 東京窓口  
 東京都千代田区有楽町 2-10-1 東京交通会館 8階（ふるさと回帰支援センター内）  
 10時～18時（月曜休館）※祝祭日、8/11～8/17、12/28～1/3を除く。  
 TEL：080-7735-3852（直通）（月曜日、木曜日を除く）

長崎の「まちの形」は今、100年に一度の大きな進化中!!

都心部で取り組みが進められている主な事業

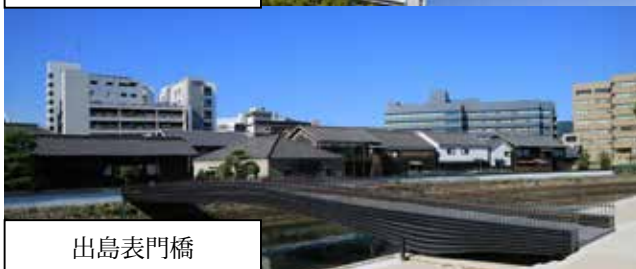
長崎市100年に一度の大きな進化



長崎市新庁舎



伊王島大橋



出島表門橋



眼鏡橋ランタン

## 長崎市だより①

長崎市企画財政部長 日向 淳一郎 (学 37)

### 1. はじめに

まず、能登半島地震では広範かつ大規模な災害が発生しました。お亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈り申しあげるとともに、被害に遭われた方々にお見舞いを申しあげます。

長崎市においても、給水車や人的支援をはじめ、被災者の受入れ、義援金等を行っており、今後も必要な支援や対応を行ってまいります。被災地の 1 日も早い復旧・復興をお祈りしています。

### 2. 令和 5 年度の出来事

長崎市にとって令和 5 年度は、ここ数年でも特に変化が激しい 1 年でした。

#### < 4 月 >

- ・市長選挙と市議会議員選挙

長崎市長選挙は 4 期務めた田上前市長が引退を表明し、16 年ぶりに市長が交代する選挙となり、鈴木新市長が就任しました。

#### < 5 月 >

- ・新型コロナウイルスが 5 類感染症へ移行
- ・プロバスケットボールチーム「長崎ヴェルカ」が B1 リーグへ昇格  
V・ファーレン長崎に続き、県内 2 つ目のプロスポーツチームであり、チーム誕生から最短で B1 昇格を決めました。
- ・出島メッセ長崎で G 7 長崎保健大臣会合開催  
長崎大学を中心に、世界の医療・公衆衛生分野に貢献してきた実績を持つ長崎で、新型コロナウイルス感染症からの「より良い回復」を目指して議論を行いました。

#### < 7 月 >

- ・4 年ぶりに長崎ペーロン選手権大会開催

#### < 8 月 >

- ・台風接近に伴い、平和祈念式典の会場が 60 年ぶりに屋内開催に変更  
被爆 78 年を迎え、被爆者の高齢化が進む中、被爆体験の継承が課題となっています。

#### < 10 月 >

- ・4 年ぶりに長崎くんち開催  
「モチッコイ」の掛け声が 4 年ぶりに諏訪神社で鳴り響きました。



## 長崎市だより②

長崎市企画財政部長 日向 淳一郎（学37）

## &lt;11月&gt;

- ・長崎駅直結の新駅ビル「アミュプラザ長崎新館」がオープン  
西九州新幹線と合わせ、長崎の陸の玄関口として駅周辺の賑わいを創出しています。
- ・長崎市市街地中心エリアが「第4回脱炭素先行地域」に選定

## &lt;1月&gt;

- ・九州初進出の長崎マリオットホテル開業

## &lt;2月&gt;

- ・ランタンフェスティバル「皇帝パレード特別版」で福山雅治さん、仲里依紗さん出演  
ランタンフェスティバルの知名度・集客力を格段に向上させました。  
また、鈴木新市長の新たな政策として、喫緊の課題である人口減少対策を具体的に実行するため、「経済再生」「少子化対策」及び「新市役所創造」の3つの重点プロジェクトを立ち上げ、庁内に組織横断のプロジェクトチームを設置するとともに、目標達成に向けた具体的な道筋を明らかにするためのアクションプランを策定しました。

## 3. これからの出来事

令和6年度は、長崎市の元気づくりのために重要なイベントが目白押しです。

今、長崎市の中心部では官民挙げたまちづくりが進んでいます。

10月には、長崎スタジアムシティが開業し、2つのプロスポーツの本拠地となります。単にスタジアムやアリーナといった施設、つまりハードが整備されるだけではなく、プロスポーツの最高レベルのプレーを間近で見られる、エンターテインメントを駅近で気軽に楽しめる、といった長崎の新しい魅力というソフトもセットで提供される「地方創生の即戦力」として大いに期待されます。

こうした新たなまちの基盤から生まれる効果を長崎市のまち全体に波及させ、経済再生と定住人口増加につなげるため、都心部の回遊性向上や都心部と周辺部をつなぐネットワークの維持・強化を軸としたまちづくりを進めていきたいと思えます。

また、北部九州総体2024の開催や、長崎県で初めて国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭「ながさきピース文化祭2025」の開催が予定されるなど、新たな交流を創造する舞台としても進化し続けています。数々のスポーツや芸術文化イベントの開催により、全国から多くの方が長崎を訪れる機会を通じて、市民との新たな交流や平和の文化の発信につなげていきます。



### 長崎市だより③

長崎市企画財政部長 日向 淳一郎 (学 37)

#### 4. おわりに

以上のように、長崎は今 100 年にいちどの変化を迎え、新しいステージに向けて歩みが続けています。

令和 5 年度の大きな変化を迎えた 1 年に加え、令和 6 年度は長崎市の元気づくりにとって重要なイベントが盛りだくさんです。

歴史や文化に育まれた長崎市に新しい変化が加わることで、これまでの長崎になかった新たな楽しみの場が生まれます。

これらをはじめ、今後も長崎市の元気をつくっていくために、国や県との連携強化をはじめ、民間企業、大学などとの産学官連携、市民の皆様との協働など「オール長崎」の体制で、長崎市役所ワンチームとなって取組みを推進していきます。



長崎の躍進にご期待ください



## ふるさと諫早の今をお知らせします①

学37 平吉 敦

私、学37回卒の平吉と申します。学生時代は、勉強はさておき、クラブ活動(経済ワンダーフォーゲル部)とアルバイトに明け暮れ、もういい加減に卒業したいと思うほど充実した生活を送っておりました。時は平成に変わり、1年の就職浪人期間を経て、以来35年間諫早市役所に勤務しておりますが、この度30年ぶり2回目の東京事務所勤務となりました。東京事務所では、市の重点施策の実現のための中央官庁や国会議員への要望活動、郷土人会との交流、移住定住の推進、観光物産のPR活動などを行っています。また、東京事務所には、諫早出身の学生の寮(諫早修習館)を併設しており、現在20名の大学生と共に一つ屋根の下で仲良く生活しています。

それでは、ふるさと諫早の現状についてご紹介いたします。

諫早市は、お隣の大村市と共に県央の中核都市として発展してきました。平成17年の市町村合併では、周辺5町(多良見町、森山町、飯盛町、高来町、小長井町)と合併し、現在人口13万人の県内3番目の都市となっています。古来交通の要衝として栄え、4本の国道とJR・島原鉄道が交わり、また長崎自動車道が通り、空港にも車で30分と交通アクセスに恵まれていることから、市内6カ所の産業団地には多くの企業に進出いただいております。製造業出荷額等は県内の約30%を占めるなど、産業集積拠点として発展しています。

また、令和4年9月の西九州新幹線の開業に合わせ、諫早駅には再開発ビルiisa(イーサ)が完成し、東口の新たな交通広場にはバスターミナルが設置されるなど、県央の玄関口として利便性と魅力が高まったことで、民間開発も活発化しマンションの建設が続いています。さらに昨年4月、南諫早産業団地には京セラ株式会社が新たな生産拠点を立地することが決定しており、市東部の小野地区には、九州最大級の大型商業施設「(仮称)ゆめタウン諫早」の開業に向けた準備が着々と進められているなど、将来的な新規雇用者数は約3,000人が見込まれています。他にも、本明川ダムや高規格道路「島原道路」の建設、県の地方機関「県南振興局」庁舎の建設などの大事業が進んでまいります。人口減少対策を最大の課題とする地方都市がほとんどである中で、諫早市は地域経済を大いに活性化すると同時に、移住・定住人口を拡大する千載一遇のチャンスを迎えています。

また諫早市は、観光の面においても大きな魅力があり、それは自然です。北部には多良山系とすそ野に広がる丘陵地帯、まちの真ん中を流れる本明川、東・西・南部には、性質の異なる3つの海(有明海、大村湾、橘湾)に面することから、自然との触れ合いが日常にあり、随所に四季を感じることができる美しいまちです。観光スポットとして一番人気は、イチゴやメロンなどの形をした5種類16基のフルーツバス停です。これらは平成2年の長崎旅博覧会の時期に、佐賀県鹿島方面から長崎県に入る際の旅の玄関口として相応しいものを造ろうと旧小長井町が建設したのですが、近年行ったお色直しとバス停周辺の花壇整備、SNSによる情報拡散により人気は再燃し、今なお、諫早のインスタ映えスポットの聖地であり続けています。

また、多良岳中腹にある白木峰高原では、春には10万本の菜の花、秋には20万本のコスモスが咲き誇り、正面に雲仙岳、眼下に諫早平野と有明海を望む絶景スポットです。さらにお勧めは、諫早湾を一直線に横断する直線7kmの干拓堤防道路「雲仙・多良シーライン」と間近

## ふるさと諫早の今をお知らせします②

学 37 平吉 敦

で見る干拓農地 670ha の圧巻の風景です。海・山・空の色の鮮やかさ、広大な農地に実る作物、延々と続く堤防上の遊歩道、その外側に広がる九州最大のビオトープ、多種多様な野鳥の群れなど、まるで絵画のようです。吹き抜ける風も爽やかで散歩やジョギング、サイクリングにも最適です。

また、食の恵みも豊かです。長崎街道を中心とした砂糖文化を象徴する伝統菓子「諫早おこし」や蒲焼した後に二重底の器で蒸して提供されるふっくらとろけるような食感の「楽焼うなぎ」、ミネラル豊かな諫早湾で育った濃厚なうま味のブランド牡蠣「小長井牡蠣」や「ゆりかごあさり」のほか、肥沃な大地で育ったじゃがいも、たまねぎ、レンコン、里芋、みかん、そばなどの地場産食材で作った料理の深い味わいは、この土地ならではの食文化を含めた食の観光として楽しまれています。

諫早自慢は、まだまだあります。体操競技個人総合で 2 連覇を果たしたキング内村航平さんをはじめ、マラソンの井上大仁さん、競泳の山口美咲さん、他にも多くのオリンピックを輩出しており、超一流のアスリートを育む環境を有する「スポーツのまち」です。近年新たに注目を集めているのは、本明川下流域にある「競技用ボート練習場」です。これも諫早湾干拓事業によって生み出されたものですが、穏やかで長大な直線水域（直線 5,000m の漕ぎ込みができ、100m の川幅には 8 レーン相当が確保できるほか、年間を通じて波や風の影響を受けにくい）であることから、ボート競技の練習場としては国内屈指の好環境を誇っています。すでに、日本代表チームや実業団、大学のチーム等が連続して合宿に訪れており、令和 6 年の全国高等学校総合体育大会のボート競技会場やパリオリンピックに向けた JOC の競技別強化センターとして指定されるなど、急激に認知度が高まっています。

また、最新の嬉しいニュースとして、本市出身の俳優役所広司さんが世界三大映画祭のひとつ、フランスのカンヌ国際映画祭で最優秀男優賞を受賞されました。その功績を称え、市では昨年 12 月に「諫早市市民栄誉賞」を贈呈し、これは内村航平さんに続き 2 人目になります。また、本市出身の作家垣根涼介さんが、第 169 回直木賞を受賞されるなど、「文化を育むまち諫早」を牽引される輝かしい活躍が続いています。

今諫早市は、自然、仕事、子育て、グルメ、アクセス、文化・スポーツなどの生活環境において、非常に「バランスのいいまち」であり、これからも積極的なシティプロモーションを行いながら、企業誘致を進め、移住・定住人口の拡大に取り組んでまいります。飛躍し続ける、可能性無限大の県央都市諫早に是非ご注目下さい。皆様におかれましては、長崎への帰省やご旅行の際には、是非お立ち寄りいただき、諫早の今をお楽しみいただければ幸いに存じます。心よりお待ちしております。

ふるさと諫早の今をお知らせします③

学37 平吉 敦



諫早駅再開発ビル iisa(イーサ)とホテル



干拓堤防道路と多良岳



雲仙岳を望む白木峰高原の菜の花



いちごフルーツバス停とコスモス

敬 弔
-----

「東京瓊林 151 号（2023 年 1 月末現在）」の発行後、

次の方々の訃報に接しました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

卒回	ご芳名	ご逝去日	卒回	ご芳名	ご逝去日
高商 34 回	一瀬 恒徳	令和 4 年 2 月 13 日	学部 10 回	中村 正彦	令和 3 年 8 月 18 日
高商 37 回	市来 清也	令和 4 年 4 月 12 日	学部 10 回	山本 忠彦	令和 1 年 6 月 4 日
経専 38 回	山口 博	令和 1 年 11 月 4 日	学部 11 回	七里 克典	令和 5 年 4 月 22 日
経専 39 回	安元 勇次郎	令和 5 年 2 月 1 日	学部 11 回	宮崎 善平	平成 30 年 7 月 26 日
経専 39 回	数川 信夫	令和 4 年 5 月 17 日	学部 11 回	原岡 宏	令和 5 年 11 月 2 日
経専 40 回	渡辺 俊彦	令和 4 年 7 月 13 日	学部 12 回	森田 滋	令和 5 年 3 月 27 日
経専 40 回	羽仁 尚栄	令和 3 年 6 月 2 日	学部 12 回	島内 忠雄	令和 3 年 8 月 30 日
経専 41 回	森川 義朗	令和 5 年 9 月 3 日	学部 12 回	牧 好雄	令和 5 年 11 月 5 日
経専 43 回	友貞 善本	令和 5 年 5 月 11 日	学部 12 回	岡本 信雄	令和 6 年 1 月 6 日
経専 43 回	伊崎 義憲	令和 5 年 5 月 6 日	学部 12 回	岩崎 慎一	令和 6 年 1 月 11 日
経専 44 回	大津 正道	令和 2 年 4 月 2 日	学部 13 回	井戸 昇	平成 31 年 1 月 14 日
学部 01 回	池辺 啓二	令和 4 年 12 月 26 日	学部 13 回	香月 征夫	令和 4 年 4 月 10 日
学部 01 回	吉村 修	令和 3 年 1 月 1 日	学部 13 回	古賀 徹	令和 4 年 4 月 23 日
学部 02 回	仮戸 健	令和 5 年 4 月 25 日	学部 13 回	藤井 利昌	令和 3 年 9 月 9 日
学部 02 回	小中 穰	令和 4 年 3 月 27 日	学部 14 回	橋本 長雄	令和 5 年 2 月 2 日
学部 02 回	橋本 正通	令和 3 年 4 月 19 日	学部 16 回	原田 英俊	令和 4 年 10 月 12 日
学部 03 回	岩永 浩	令和 5 年 6 月 10 日	学部 16 回	奥本 義教	令和 1 年 10 月 6 日
学部 03 回	松尾 榮	令和 5 年 8 月 22 日	学部 16 回	南村 武	平成 30 年 4 月 14 日
学部 03 回	山本 熊雄	令和 4 年 12 月 29 日	学部 16 回	和田 勝秋	平成 30 年 9 月 13 日
学部 05 回	米田 進	令和 1 年 5 月 1 日	学部 17 回	中嶋 宏造	令和 5 年 1 月 11 日
学部 05 回	福地 茂雄	令和 6 年 1 月 29 日	学部 17 回	下川 匡洋	令和 5 年 4 月 2 日
学部 06 回	吉武 幸雄	令和 5 年 3 月 21 日	学部 17 回	宮崎 聖輝	平成 26 年 4 月 2 日
学部 06 回	上田 博祥	令和 4 年 9 月 3 日	学部 18 回	水永 賢三	令和 5 年 5 月 2 日
学部 07 回	益田 元一	令和 5 年 9 月 16 日	学部 20 回	勝田 康則	平成 26 年 8 月 17 日
学部 07 回	荒木 宏之	令和 5 年 9 月 2 日	学部 21 回	蔵森 雅生	令和 5 年 6 月 25 日
学部 07 回	小林 弘毅	令和 2 年 6 月 20 日	学部 23 回	里 研一	令和 4 年 7 月 12 日
学部 07 回	平川 公巳	令和 5 年 10 月 3 日	学部 25 回	入濱 幹夫	令和 3 年 4 月 13 日
学部 08 回	森田 弘昭	令和 4 年 12 月 18 日	学部 64 回	服部 翔生	令和 4 年 10 月 2 日
学部 08 回	笹田 寛	令和 5 年 7 月 26 日			
学部 08 回	広佐古 鴻	令和 1 年 5 月 4 日			
学部 09 回	三輪 修蔵	令和 3 年 12 月 23 日			
学部 09 回	山下 勉	令和 6 年 1 月 9 日			

※今年は、5 年に一度の会員現況調査を行いました。

その結果、お伝えできていなかった方も合わせてお知らせ申し上げます。

## 令和5年度(2023年)会費納入者一覧(敬称略)

(2023年3月～2024年1月末現在) 309名

会費納入いただきありがとうございました。

卒回	お名前	卒回	お名前	卒回	お名前
学部 01	松岡 眞男	学部 09	木村 耕三	学部 13	中村 正克
学部 02	岩永 寿郎	学部 09	佐藤 徹	学部 13	東島 靖人
学部 02	柄本 貞丸	学部 09	高瀬 健二	学部 13	平川 秀人
学部 02	仮戸 健	学部 09	田中 明久	学部 13	松尾 信孝
学部 02	小林 茂男	学部 09	辻 敏彦	学部 13	彌富 克彦
学部 02	徳本 雄一郎	学部 09	山下 勉	学部 13	吉川 優
学部 03	浦川 延喜	学部 10	一ノ瀬 義之	学部 14	伊東 義人
学部 03	島田 辰義	学部 10	池田 壽一	学部 14	上村 伍朗
学部 03	津村 好計	学部 10	江口 繁唯	学部 14	内野 武夫
学部 03	永留 光之	学部 10	岡藤 幸策	学部 14	黒山 久章
学部 03	松尾 栄	学部 10	梶山 正博	学部 14	藤村 建夫
学部 04	倉地 完一	学部 10	許斐 幹彦	学部 14	安田 正秀
学部 04	福田 誠一	学部 10	貞方 士郎	学部 15	足立 鉄生
学部 05	内山 淳見	学部 10	高嶺 朝映	学部 15	川寄 滋
学部 05	甲木 英光	学部 10	竹崎 勲	学部 15	河野 正一
学部 05	藤井 美智子	学部 10	原田 信男	学部 15	佐々木 和行
学部 06	入佐 輝男	学部 10	本多 昌幸	学部 15	橋本 貞夫
学部 06	川島 勉	学部 10	光永 久之	学部 15	平川 文彦
学部 06	福井 弘志	学部 10	宮本 祥行	学部 15	堀居 堅
学部 06	藤 俊伸	学部 10	屋敷田 賢作	学部 15	槇本 和裕
学部 06	三根 吏	学部 10	吉村 秀雄	学部 16	上野 昭男
学部 06	村上 文夫	学部 11	石田 昌吉	学部 16	大塚 保
学部 06	吉野 岑生	学部 11	小林 憲正	学部 16	中島 純忠
学部 07	蔵屋 勝敏	学部 11	徳久 忠正	学部 16	中山 作富
学部 07	副島 邦雄	学部 11	長野 英明	学部 16	藤田 優
学部 07	堤 昇	学部 11	西尾 智博	学部 16	前田 正昭
学部 07	寺田 政輝	学部 11	原岡 宏	学部 16	村高 誓司
学部 07	原田 義之	学部 11	松尾 晋	学部 16	山内 裕介
学部 07	益田 元一	学部 11	丸本 雄三	学部 17	内田 重樹
学部 07	横川 等	学部 11	三谷 彬明	学部 17	小関 尚英
学部 07	横沢 弘溶	学部 12	稲山 清紀	学部 17	草野 耕二
学部 08	秋山 宏二	学部 12	岩下 芳和	学部 17	荘 敏幸
学部 08	豊田 安鴻	学部 12	内野 鐵平	学部 17	智多 昌憲
学部 08	長野 寛	学部 12	小倉 勇	学部 17	藤井 吉弘
学部 08	中村 政治	学部 12	川口 恒夫	学部 17	藤田 基
学部 08	西山 正昭	学部 12	岸川 博	学部 17	見崎 俊輔
学部 08	馬場 日出美	学部 12	高本 正	学部 18	有富 武司
学部 08	浜口 孝昭	学部 12	迫本 正記	学部 18	伊藤 正
学部 08	林 英男	学部 12	高岡 芳徳	学部 18	井原 弘道
学部 08	外尾 勉	学部 12	永柄 賢次	学部 18	小倉 孝司
学部 08	三浦 康寿	学部 12	中川 義文	学部 18	柿田 寛
学部 08	牟田 辰雄	学部 12	中島 明	学部 18	川上 久夫
学部 08	米良 康二	学部 12	野村 方昭	学部 18	重松 義章
学部 08	毛利 寿男	学部 12	平野 勝利	学部 18	高橋 道雄
学部 08	萬木 勇	学部 12	藤井 健二	学部 18	田中 洋
学部 08	米丸 昭夫	学部 12	本松 健治郎	学部 18	塚本 徳男
学部 09	石原 芳昭	学部 13	大隈 征次郎	学部 18	徳重 克己
学部 09	伊津野 平	学部 13	熊野 東男	学部 18	永田 勇夫
学部 09	小川 渚	学部 13	佐多 直治	学部 18	中野 榮次
学部 09	北村 義三	学部 13	柴田 清廣	学部 18	橋口 孜

# 令和5年度(2023年)会費納入者一覧(敬称略)

(2023年3月～2024年1月末現在) 309名

会費納入いただきありがとうございました。

卒回	お名前	卒回	お名前	卒回	お名前
学部 18	溝田 信太郎	学部 23	原田 英博	学部 29	堀内 宇
学部 18	森部 良広	学部 23	田代 雅孝	学部 29	牧野 陽一郎
学部 18	山野 澄雄	学部 23	松尾 肇	学部 29	松本 正信
学部 18	吉田 一久	学部 23	満崎 周夫	学部 29	村上 真由美
学部 18	萬屋 鴻嗣	学部 23	渡辺 一博	学部 29	森 厚憲
学部 19	井上 健一郎	学部 23	渡部 良次	学部 29	吉開 孝人
学部 19	江川 次雄	学部 24	井上 隆	学部 29	渡邊 俊雅
学部 19	江崎 秀昭	学部 24	江上 寛	学部 30	大賀 和昭
学部 19	近藤 善行	学部 24	恵崎 隆彦	学部 30	野中 秀樹
学部 19	酒井 哲	学部 24	大串 憲一	学部 31	井上 勝康
学部 19	薩本 猛夫	学部 24	甲斐田 雄三	学部 31	金丸 逸郎
学部 19	菅原 義文	学部 24	金野 正英	学部 31	釜我 利彦
学部 19	田中 義和	学部 24	中村 博	学部 31	岸川 泉稔
学部 19	中村 光昭	学部 24	野見山 隆志	学部 31	原田 梶二
学部 19	矢野 博文	学部 24	畑野 耕逸	学部 31	平岡 千秋
学部 19	山野 セツ子	学部 24	水野 正嗣	学部 32	稲富 千路
学部 20	井口 篤子	学部 24	山口 勝美	学部 32	森 日出樹
学部 20	井芹 護	学部 24	山本 洋市	学部 32	山口 晋文
学部 20	内川 博文	学部 24	吉田 均	学部 33	東 浩
学部 20	河野 泰樹	学部 24	上田 直	学部 33	古野 真一郎
学部 20	坂木 茂美	学部 25	宇野 芳晴	学部 34	赤木 浩一
学部 20	佐藤 芳和	学部 25	小城 政文	学部 34	河野 和寛
学部 20	武野 勝次	学部 25	辻 二男	学部 34	中村 彰幸
学部 20	西橋 時男	学部 25	中尾 宏幸	学部 35	荒嶽 敏のぞみ
学部 20	橋本 俊介	学部 25	藤井 松太郎	学部 35	白居 省圭
学部 20	藤原 慎一郎	学部 25	松下 康幸	学部 35	波戸 子史
学部 20	藤野 進	学部 25	三木 修	学部 35	林田 毅
学部 20	松本 康	学部 25	三石 信志	学部 35	堀田 子二
学部 20	山内 朗	学部 25	宮川 博幸	学部 36	市田 孝順
学部 21	井上 直樹	学部 25	宮崎 一郎	学部 36	井上 真也
学部 21	岩倉 史佳	学部 25	城見 浩一	学部 36	松尾 昌洋
学部 21	小野 等	学部 26	寺園 芳郎	学部 37	窪村 直人
学部 21	佐藤 洋二	学部 26	野口 弘	学部 38	香山 明枝
学部 21	田中 健一	学部 26	松村 弘	学部 39	村田 瑞貴
学部 21	内藤 幸雄	学部 26	窪田 完二	学部 40	小宮 貴士
学部 21	百武 兼義	学部 27	高橋 亨	学部 40	今橋 義孝
学部 21	平山 修	学部 27	池田 研二	学部 41	宮脇 英利
学部 21	山口 康一	学部 28	今泉 一隆	学部 41	松岡 秀一
学部 21	吉田 綱一郎	学部 28	竹内 浩一	学部 41	矢野 亮介
学部 22	有馬 慎太郎	学部 28	福田 和太	学部 42	加々山 晃一郎
学部 22	井上 正則	学部 28	古瀬 稔	学部 42	川口 正一
学部 22	岩崎 茂	学部 28	山中 虎男	学部 43	河野 正芳
学部 22	川内 静久	学部 28	大久保 健彦	学部 45	小野 孝典
学部 22	坂本 修一	学部 29	國廣 昭彦	学部 54	金澤 幸も
学部 22	服部 高行	学部 29	合屋 隆司	学部 54	川島 幸と美
学部 22	宮本 貫治	学部 29	長岡 健	学部 55	山野 秀一
学部 22	荒川 克彦	学部 29	長岡 正道	学部 56	林 友紀
学部 23	岩永 秀典	学部 29	中川 和彦	学部 61	行徳 次介
学部 23	小泉 文則	学部 29	藤井 茂樹	学部 61	戸西 浩祐
学部 23	林 俊也	学部 29	藤田 克子	学部 63	山崎 真由美
				大学院 14	永松 志男
				大学院 15	西崎 信美
				大学院 16	中村 奈美

令和 5 年度 支部への寄付者御氏名

(令和 6 年 1 月末現在)

卒回	御芳名
学 02	岩永 浩
学 03	永留 光之
学 09	伊津野 平
学 09	小川 渚
学 10	光永 久之
学 14	黒山 久章
学 18	吉田 一久
学 20	井口 篤子
学 21	小野 等
学 21	田中 健一
学 21	福永 青磁
学 21	吉田 綱一郎
学 23	松尾 肇
学 23	渡辺 一博
学 23	岩永 秀典
学 24	井上 隆
学 25	宮崎 一郎
学 28	山中 虎男
学 29	国広 昭彦
学 29	中川 和彦
学 31	金丸 逸郎
学 33	中村 寛彰
学 36	松尾 真也
学 45	井上 正芳

(敬称略)

総額：215,000 円

ご寄付いただきありがとうございました。

## 東京支部 2023 年度決算見込み及び 24 年度予算案

決算：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

予算：2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

単位：円

		2022	2023		2024
		決算（実績）	予算	決算（見込）	予算（案）
収入	年会費	1,324,000	1,400,000	1,320,000	1,400,000
	寄付金	129,000	100,000	215,000	100,000
	総会		480,000	544,000	630,000
	広告				
	賛助金	213,140	200,000	200,000	200,000
	預金金利	21	21	16	16
	助成金				
	業務委託費	300,000	300,000	300,000	300,000
	会合費	222,000	90,000	104,000	100,000
	雑収	20,456			
	計	2,208,617	2,570,021	2,683,016	2,730,016
支出	総会	165,681	1,000,000	979,919	1,100,000
	会報費	178,730	200,000	250,000	250,000
	業務委託費	500,000	500,000	500,000	500,000
	会合行事	757,878	90,000	165,502	100,000
	通信費	262,414	300,000	300,000	300,000
	旅費交通費	93,492	100,000	100,000	100,000
	家賃	240,000	240,000	240,000	240,000
	光熱費	26,074	30,000	30,000	30,000
	振替手数料	39,947	40,000	40,000	40,000
	事務用品	229,266	20,000	20,000	20,000
	印刷	105,120	30,000	30,000	30,000
	雑費	86,476	20,000	20,000	20,000
	支部運営システム開発				200,000
	計	2,685,078	2,570,000	2,675,421	2,930,000
収支	-476,461	21	7,595	-199,984	
前期繰越	2,110,042	1,633,581			
次期繰越	1,633,581	1,633,602	1,641,176	1,441,192	



## 瓊林会東京支部 役員体制

令和5年7月より、下記役員にて、東京支部の運営を行っております。  
 「人の集まりやすい支部へ」「東京支部活性化」を目指して、活動しています。  
 今後とも、皆様のご協力・ご支援をお願いいたします。

役職名	氏名	卒回
支部長	国広 昭彦	学部29回
副支部長	吉田 綱一郎	学部21回
副支部長	堀内 宇	学部29回
副支部長	堀田 毅	学部35回
副支部長	中村 奈美	院 16回
事務局長	牧野 陽一郎	学部29回
監事	岸川 泉	学部31回
運営委員	中川 和彦	学部29回
運営委員	渡邊 俊介	学部29回

瓊林会東京支部活動を活性化するためには、役員だけでは十分とはいえません。

支部活動を応援していただける方は、お申し出ください。

会報の編集・総会準備など、項目ごとへの応援でも結構です。

また、各回生におかれましては、卒回毎に幹事を選出していただくようお願いいたします。

## 事務局からのお願い

### ■同窓会会費の納入のお願い

2024 年度会費の振込票を同封しております。

同窓会は、会員の皆様方の会費で運営されております。できるだけ多くの会員の皆様にご支援いただければ円滑な運営につながります。「人の集まる」魅力的な同窓会を目指して活動してまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

次年度の活動計画作成のため、2025 年 1 月末までに納入頂ければ幸いです。

### ■会費額／振込先

会費：学部卒 7 0 0 0 円（内訳：本部（公益）3 0 0 0 円＋支部 4 0 0 0 円）

振込先：郵便振替口座 0 0 1 6 0－2－1 5 6 1 7

※同封の振込み用紙をお使いください

### ■会員情報の登録について

瓊林会東京支部では、ホームページを開設しています。

トップページの右側に配置されている、『会員登録』のボタンを押すと、瓊林会会員移動報告兼登録の欄が出てきますので、まだ会員登録、移動報告、Eメール登録をされていない方はご登録よろしくお願いたします。

また、同期生の方々の情報をお持ちでしたら、お寄せ下さい。

### ■東京瓊林 153 号原稿募集

東京支部では、2025 年 3 月発行予定の会報誌「東京瓊林 153 号」の原稿を下記のとおり募集致します。

#### 記

- |                                       |           |
|---------------------------------------|-----------|
| 1. 同期会                                | 2,000 字以内 |
| 2. クラブ・ゼミ OB・OG 会                     | 2,000 字以内 |
| 3. 趣味の会                               | 2,000 字以内 |
| 4. 追悼文（東京支部会員に限る）<br>（故人のお写真もお願いします。） | 2,000 字以内 |
| 5. 旅行記・学生時代の思い出                       | 2,000 字以内 |
| 6. コロナ禍に関連する生活・対策・情報等                 | 2,000 字以内 |
| 7. 私の近況                               |           |

### ■原稿締切：2025 年 1 月末

■原稿送付方法：メール（添付ファイル）で頂けますと編集が簡略化できますので、ぜひお願いいたします。

写真も 1～2 枚添付してください。

卒回（又は、卒業年度）をご記入ください。

会報誌へ広告掲載が可能な方は、事務局へご連絡ください。

### ■原稿の送付先

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-10-2

長崎県東京産業支援センター 301 号室

メール：info@tokyo-keirin.jp

電話：03-6240-0532

## 表紙紹介

### 「長崎大学龍踊部」

みなさん、こんにちは！

私たちは、長崎の伝統芸能である龍踊りを主に地域のイベントなどで披露しています。

そして、長崎大学龍踊部は、今年で創設 21 年目を迎えます。

部員数は 1 ～ 4 年生を合わせて 21 名です

部員は県内外さまざまなところから集まってきており、学年や学部を問わず、和気藹々とした雰囲気です。日々部活に取り組んでいます。

見ている方々をあっという間に驚かせるような、迫力ある演技や伝統芸能に恥じない、堂々とした演技を目指して練習を頑張っています！

(長崎大学龍踊部 脇山祐伍様より)

## 編集後記

今年度は、新型コロナの 5 類移行に伴い 4 年ぶりに懇親会を含めた通常の支部総会を開催できました。幅広い世代の会員が集い、肩を組んで「暁星淡く」を大声で歌いました。

秋には、ラグビーワールド杯の観戦会で声をからして応援し、4 年ぶりに開催された「日本寮歌祭」では、長崎高商の存在を大いにアピールできました。

来年は、さらに皆様の交流を深める支部活動を展開してまいります。

皆様の積極的なご参加・ご支援のほど、よろしく申し上げます。

本誌発行に当たり、寄稿いただいた皆様、ご支援いただいた皆様に感謝申し上げます。

引き続き、幅広い年代の皆様からご寄稿いただきたく、お願い申し上げます。

編集担当 牧野 陽一郎 (学 29)

## 東京瓊林 152 号

2024 年 3 月発行

発行所：瓊林会東京支部

〒 160-0004

東京都新宿区四谷 1-10-2

編集者：牧野 陽一郎 (学 29)

長崎県東京産業支援センター 301

誌面作成・デザイン：

電話：03-6240-0352

株式会社 ONE HUNDRED

東京支部のホームページでは、今後とも内容充実を図ってまいりますので、ぜひアクセスしてください。



瓊林会 東京支部

東京瓊林 表紙ギャラリー

東京瓊林

No.148  
2023.3



比島メッセ



瓊林会 東京支部

148号

東京瓊林

No.149  
2023.3



比島メッセ



瓊林会 東京支部

149号

東京瓊林

No.150  
2023.3



比島メッセ



瓊林会 東京支部

150号

東京瓊林

No.151  
2023.3



高松駅新駅舎と西九州新幹線  
(国鉄名 高崎 上-1号-29)



瓊林会 東京支部

151号